平成31年3月7日

※評価基準
A 達成
B ほぼ達成
C 取り組みがやや不十分
D 取り組みが不十分

※ 記載担当
【○】主担当
「△」副担当

アンダーライン：第1回運営委員会以降の追加・変更点

平成30年度 自己点検評価書

	[最左欄] ローマ数字欄 認：機関別認証評価で指摘された事項（○：書面指摘,△：訪問調査時指摘） 外：外部評価委員会で指摘された事項 JB：JABEEで指摘された事項					教務主事	学生主事	寮務主事	専攻科主事	企画主事	図書館長	総合情報C長	産学民TC長	学生相談室長	キャリア支援室長	機械	電気	制御	生化	材料	文科	理科	総務課	学生課	記入担当者報告用データ	担当者評価	項目別評価	事項別評価	次年度へ向けての対応（担当者データ）
	Ⅰ 業務の質の向上に関する目標を達成するために取るべき措置																												
	1 教育に関する事項																												
	（1）入学者の確保																												
1	Ⅰ	1	(1)	①	教員による中学校訪問	○																			教員34名で，中学校201校，塾4校を8月24日～9月29日の間に訪問した．このための説明会を8月31日に実施した．この201校のうち佐賀県33校については，合同説明会が9月8日に佐賀市で予定されていたため，8月末に訪問した．また，説明依頼のあった中学校（11校）、塾（1校）（9月19日現在）については教務主事室で対応している。（教務主事）	A（教）	A	A	次年度も同様に実施する（教務主事）。
2	Ⅰ	1	(1)	①	入試予備問題のマークシート化対応	○															○	○		○	平成30年度入試で本校で作成する予備問題5教科を全てマークシート化し，全教科OMR読み込みによる機械採点を可能とした．（教務主事） 対応している。（文） マークシート化している。（理）	A（教） A（文） A（理）	A		対応済み（教務主事）。 継続（文）
3	Ⅰ	1	(1)	②	学校説明会・見学会の実施	○																			今年度の学校説明会の予定は以下のとおりである。 ・学校説明会・見学会（本校）10月 13日（土） ・高専を知ってくれん会（高専祭）11月 3日（土祝） ・学校説明会（本校）11月 10日（土）　　（教務主事）	A（教）	A	A	次年度も同様に実施する（教務主事）。
4	Ⅰ	1	(1)	②	中学生やその保護者に対する学校見学対応	○																			依頼のあった4件（9月19日現在）については、全て希望のとおり実施した。（教務主事）	A（教）	A		次年度も対応する（教務主事）。
5	Ⅰ	1	(1)	②	高専合同学校説明の実施	○																			今年度は有明高専・佐世保高専・北九州高専の事情により、合同説明会は9月29日（土）に開催した。 有明・久留米合同説明会のみとなった。（教務主事）	A（教）	A		他高専と検討する。（教務主事）。
6	Ⅰ	1	(1)	②	入試説明懇談会の実施	○																			10月 22日（月）久留米市（本校），同 23日福岡市，同 24日佐賀市で実施した．（教務主事）	A（教）	A		次年度も同様に実施する（教務主事）。
7	Ⅰ	1	(1)	②	一日体験入学の実施及び募集案内	○																			8/21(火)・22(金)に実施し、179校から560名の参加があった．昨年度どおり7コマで実施しそのうち1コマを開校式と学校説明にあてた．．参加者のアンケート結果もまずまずであった．（教務主事）	A（教）	A		次年度も同様に実施する（教務主事）。
8	認	1	(1)	②	○一日体験入学アンケート実施、分析及び対策検討	○																			好評であった。（教務主事）	A（教）	A		次年度も同様に実施する（教務主事）。
9	Ⅰ	1	(1)	②	小中学生を対象とした公開講座の実施											○	○	○	○	○	○	○			機械工学科「ソーラーカーを作ろう！」8月 24日(金) 参加者 24名（定員上限）を実施した。（機械） 3月27日(水)に中学生向け公開講座実施で参加公募を公開している。（電） 「化学への招待～楽しい生物・化学教室～」8月10日(金) 参加者36名（生化） 公開講座『青銅鏡をつくろう』を8月11日に実施。参加者10名（材料シ） 実施していない。（文） あなたも一日サイエンティストを実施している。（理）	A（機） A（電） A（制） A（生） A（材） C（文） A（理）	A		今年度と同様の内容を実施する。（機械） 継続実施する予定。（電気電子） 本学科の教員がJSTジュニアドクター育成塾の採択により福岡県などの小中学校生を対象にした育成活動を行っている。次年度も実施する。（制御） 次年度も実施予定（生化） H31年度も同様な公開講座を開講することを検討している。（材料シ） 特に計画はない。（文） あなたも一日サイエンティストを実施する。（理）
10	Ⅰ	1	(1)	②	女子寮のPR	○		○																	学校説明会・1日体験入学・中学校での説明会等で女子寮があることをPRしている。（教務主事） 学校見学会において、寮生会が中学生および保護者を女子寮に案内し見学してもらうことでPRを図った。（寮務主事）	A（教） A（寮）	A		次年度も同様に実施する（教務主事）。 次年度も継続して実施する．（寮務主事）
11	Ⅰ	1	(1)	②	女子中学生向けパンフレットの活用	○																			KOSEN×GIRLsを中学校訪問で中学校に、また、高専祭の進路相談、塾主催の進路相談会で配付した。（教務主事）	A（教）	A		次年度も同様に実施する（教務主事）。
12	Ⅰ	1	(1)	③	学科別パンフレットの作成検討	○										△	△	△	△	△					今のところ学科別パンフレットの作成については各学科に任せている。（教務主事） 外部発注でなく8月体験入学時のA3版の片面カラー印刷を参加中学生と保護者に配布。最近の進路状況を含めた新入学生配布資料を検討準備中。（電気電子） 学生課で作成している。（制御） 新入生ガイダンス用，体験入学時の中学生向け，保護者懇談会向けパンフレットをそれぞれ作成配布した。学校見学会用も作成配布した。（生化） 一日体験入学時に材料システム工学科のチラシを作成し配付した。（材料シ）	A（教） C（電） A（生） A（材）	A	A	次年度も同様に実施する（教務主事）。 予定なし。（機械） 費用の面からリーフレット等多様な検討をする。（電気電子） 次年度も実施予定（生化）
13	Ⅰ	1	(1)	③	中学校への本校紹介情報充実	○																			訪問した中学校に配布用のビラを作成した。また、1.2年生用に「高専を知ってくれん会」のポスターを作成し、教室に掲示を依頼した。（教務主事）	A（教）	A		次年度も同様に実施する（教務主事）。
14	外	1	(1)	③	中学校教員への本校紹介方法検討（H29外部評価委員会）	○																			1.2年生へのアピールに力を入れている。（教務主事）	A（教）	A		次年度も同様に実施する（教務主事）。
15	Ⅰ	1	(1)	③	機構の広報活動調査とそれらの活用	○																		○	一日体験入学や学校説明会での高専制度に関する説明で，機構のWebページ掲載の学生数，教員数，進学率等のデータを利用している．（教務主事）	A（教）	A		次年度も同様に実施する（教務主事）。
16	Ⅰ	1	(1)	④	ｱﾄﾞﾐｯｼｮﾝ・ポリシーに基づく入学者選抜の実施	○			○																学校要覧(P.2)，本科募集要項（見返し），入学案内リーフレット(P.1)に記載し，教職員へ周知するとともに，社会へ公表している．受験生とその保護者に向けてはこれらに加えて，学校説明会や一日体験入学の際にスライドで説明している．（教務主事） 学校要覧(P.9)，専攻科募集要項に記載し，教職員へ周知するとともに，社会へ公表している．アドミッションポリシーに沿って6月ならびに10月に専攻科入学試験を実施した。（専攻科主事）	A（教） A（専）	A	B	次年度も同様に実施する（教務主事）。 継続して実施していく（専攻科主事）
17	認	1	(1)	④	△ｱﾄﾞﾐｯｼｮﾝ･ﾎﾟﾘｼｰに対応した入学者選抜基本方針の策定及び周知方法検討	○			○																現ポリシーの周知は行っているが，入学者選抜基本方針の策定は未検討．（教務主事） 3ポリシーは公開されているが選抜基本方針の策定は未実施(専攻科主事)	A（教） C（専）	B		次期主事室で検討（教務主事）。 選抜方針の策定について継続して検討していく（専攻科主事）
18	Ⅰ	1	(1)	④	入試成績と入学後の成績調査に基づく入試制度の検討	○			○																検討中．（教務主事） 本年度の募集要項では推薦入試においてTOEICスコアを入学試験成績に取り入れた。学力入試に関しては昨年度同様なTOEICの取り扱いとした。入学後の成績との関連性については未対応。（専攻科主事）	A（教） C（専）	B		次期主事室で検討（教務主事）。 関連性について調査を実施する（専攻科主事）
19	認	1	(1)	④	入学動機に関するアンケート調査、分析及び対策検討	○																			新入生に対し機構本部所定の質問事項のアンケートを4月末に実施．大きな傾向変化は認められなかった.（教務主事）	A（教）	A		次年度も同様に実施する（教務主事）。
20	Ⅰ	1	(1)	⑤	数学診断テストの実施による入学者学力水準確認（I1(2)②に再掲）	△																○			数学科で検討し授業に活かしている。（理）	A（教） B（理）	A	A	数学科で検討し授業に活かす。（理）
21	Ⅰ	1	(1)	⑤	本科・専攻科アドミッション・ポリシーの公表	○			○																募集要項では1ページのトップに，本校Webページでは「入学案内」の最初の項目として掲載している．（教務主事） 久留米高専HPの「入学案内」の箇所に公表している。（専攻科主事）	A（教） A（専）	A		次年度も同様に実施する（教務主事）。 継続して実施していく（専攻科主事）
22	Ⅰ	1	(1)	⑤	志願倍率向上策の検討・実施	○																			早くから高専を知ってもらうために、1.2年生に対する広報活動を展開している。その方法として、1)パンフレットの配布、2)「高専を知ってくれん会」の実施と1.2年生教室へのポスター掲示とホームページに掲載　など（教務主事）	A（教）	A		次年度も同様に実施する（教務主事）。

23	Ⅰ	1	(1)	⑤	入試志願状況の分析と入試広報戦略の見直し	○																		○	ここ数年、入試倍率は右肩下がりとなっており、これは15歳人口の減少が原因と考える。本校の場合、偏差値が高めであるため、遅い時期に高専の存在を知ってもらっても、あきらめるケースが多いとの意見もある。このため、低学年に対する広報活動を充実させる。(教務主事)	A(教)	A		次期主事室で検討(教務主事)。
24	Ⅰ	1	(1)	⑤	男女別入学志願状況の把握	○																		○	入学志願者の男女別人数は、平成元年分から一覧表が作成されている。これによると、平成23～平成25年度は平均82人であるのに対し、平成26～29年度は平均72人で約12%の減少。志願倍率は平均2.06倍から1.82倍へ。同様に約12%の減少であり、女子志願者の減少は総志願者の減少によるものと考えられた。(教務主事)	A(教)	A		次年度も同様に実施する(教務主事)。
25	Ⅰ	1	(1)	⑤	女子学生のための教育環境の整備等の実施(Ⅰ1(6)③に再掲)	○																	○		これまでに行った、女子学生のための教育環境整備をまとめておく。1)女子更衣室入り口防犯カメラの設置、2)女子トイレ扉の施開をなくし盗撮防止、3)屋外照明の増設。4)通学路の照明設置交渉。5)樹木剪定による照明の効果増。など(教務主事) 女子更衣室(洗面器・床張替、ロッカー更新)改修工事及び女子寮渡り廊下滑り止め工事を行った。(総務課)	A(教) A(総)	A		次年度も同様に実施する(教務主事)。 女子学生の意見要望を把握する機会を設ける。(総務課)
26	外	1	(1)	⑤	Web上へのタイムリーな入試案内や高専紹介情報公開(H29外部評価委員会)	○			○															○	学校説明会(佐賀・福岡)の実施案内をホームページに掲載した。(教務主事) 専攻科関連の情報は常に専攻科HPへ情報更新している。(専攻科主事)	A(教) A(専)	A		次年度も同様に実施する(教務主事)。 継続して実施していく(専攻科主事)
27	Ⅰ	1	(1)	⑥	過去の入試問題の公表又は開示	○																			推薦入試(1月中下旬実施)の適性検査(数学)の問題を平成27年度～平成30年度分について本校Webページに掲載している。学力入試については、同じく平成27年度～平成29年度分の問題と解答が掲載されている機構本部のWebページへリンクを設定している。また、学力試験問題実物を一日体験入学・学校説明会の際に展示及び配付した。(教務主事)	A(教)	A	A	次年度も同様に実施する(教務主事)。
28	Ⅰ	1	(1)	⑥	専攻科、本科編入学試験問題のWebページ公開検討	○			○															○	入試運営委員会において検討したが結論には至らず。(教務主事) 専攻科関連の情報は常に専攻科HPへ情報更新している。webでの公開はまだ未検討(専攻科主事)	A(教) C(専)	B		次年度も同様に実施する(教務主事)。 公開について検討していく(専攻科主事)
29	Ⅰ	1	(1)	⑥	実入学者数の適正化	○			○																平成30年度入試では学力受検者がおおかったことから、昨年度に続き各学科定員＋3名の215名としたが、辞退者はいなかった。運営上、支障は見られていない。(教務主事) 専攻科入学者は定員の150%程度で推移しており、現状規模で運営に問題なし。来年度入学者については200%の入学者を予定している。(専攻科主事)	A(教) A(専)	A		次年度も同様に実施する(教務主事)。
30	Ⅰ	1	(1)	⑥	有明高専との福岡市入試同一試験会場開設	○																			平成31年2月17日に実施する平成31年度学力入試を福岡市に於いて有明高専と同一会場で行う。今回の看護師は久留米が手配を行う。(教務主事)	A(教)	A		次年度も同様に実施する(教務主事)。
			(2)		教育課程の編成																								
31	Ⅰ	1	(2)	①	材料システム工学科のカリキュラム変更対応	○													○						全ての公式書類には「材料システム工学科」の名称を使用している。(教務主事) H31年度カリキュラム改正を含み再検討している。(材料シ)	A(教) A(材)	A	A	次年度も同様に実施する(教務主事)。 原級留置学生に対して、個別プログラムで対応する。(材料シ)
32	Ⅰ	1	(2)	①	学科の大括りやコース制導入高専の動向調査	○																			実施している北九州高専と有明高専から、「低学年に専門科目がないため時間割が空く」「志望コースの決定が成績によるため部活を辞めて勉強するという学生が少なからず出た」「推薦でも入学後のコース選択となるため志願者が減った」などのデメリットも伝わっている。旭川高専ではくくり入試を数年で辞めたとのことである。継続して調査する。(教務主事)	A(教)	A		次年度も同様に実施する(教務主事)。
33	Ⅰ	1	(2)	①	専攻科生の学位授与機構への学位審査申請				○																特例適用専攻科修了見込みでの申請ガイダンスを7月に実施し、専攻科研究論文指導教員への指導依頼を行った。平成30年度修了見込者の単位取得状況の手続きをした。2月に最終申請を行う予定行った。(専攻科主事)	A(専)	A		継続して実施していく(専攻科主事)
34	Ⅰ	1	(2)	①	特例適用専攻科の安定的維持				○																特例適用専攻科での専攻科研究論文指導教員へ学生一人当たり5万円の補助を昨年度同様に予算化した。 実施計画書(個表)やカリキュラム変更等に関し9月締切の事前アナウンスを行った。 査読付き論文5年間で筆頭論文2報の執筆依頼を行った。(専攻科主事) 1年生の専攻科研究基礎配属、創造工学実験の指導、2年生の学修総まとめ科目の履修計画書の指導など着実に行っている。(電気電子)	A(専)	A		依頼を継続していく(専攻科主事)
35	Ⅰ	1	(2)	②	教育課程表及び教務に関する規程の諸問題の検討	○																			教育体制整備にかかわりカリキュラム改正した。(教務主事) 平成31年度カリキュラムの再編に向け学科内で検討調整し成案を得た。(電気電子)	A(教)	A		次年度も同様に実施する(教務主事)。
36	Ⅰ	1	(2)	②	新入生「数学」学力診断テストの実施及びその結果を反映した授業構成実施															○					本科1年生には、実践演習、専門基礎などで専門にい関連する数学の導入指導を進めている。(電気電子) 学生の基礎学力を把握して授業に臨んでいる。(理)	B(理)	B		学生の基礎学力を把握して授業に臨む。(理)
37	Ⅰ	1	(2)	②	数学診断テストの実施による入学者学力水準確認(I1(1)⑤再掲)	△														○					経年比較で学力水準を確認している。(理)	B(理)	A		経年比較で学力水準を確認する。(理)
38	Ⅰ	1	(2)	②	「数学」「物理」学習到達度試験実施及びその結果に基づく授業方法改善の検討															○					検討している。(理)	B(理)	B		CBTの結果に基づく授業方法改善の検討を行う。(理)
39	Ⅰ	1	(2)	②	「物理」「化学」の学生の関心を高める実験方法、項目の検討															○					検討、実施している。(理)	B(理)	B		引き続き検討、実施する。(理)
40	Ⅰ	1	(2)	②	TOEICおよび英語外部評価テスト(1,3年)の実施	○													○						・英語外部評価テストは1年生は4月6日、3年生は6月20日に実施した。(教務主事) ・TOEIC IPテストを4/14に実施した。また公開テストは11/18、1/13に実施予定。(教務主事) 学科として英語の実践活用に取り組んでおり、TOEICの受験も推奨している。(電気電子) 実施している。(文)	A(教) A(文)	A		次年度も同様に実施する(教務主事)。 継続(文)
41	Ⅰ	1	(2)	②	英語プレコンへの参加支援		○												△						9月19日～20日に九州沖縄地区国立高等専門学校英語プレゼンテーションコンテストの開催を担当した。(学生主事) 特にプレコンに向けてではないが、本科1年、2年の専門科目で英語によるコミュニケーションを推進し専門科目や社会活動での英語コミュニケーション力の必要性の伝達、基礎の充実を図っている。(電気電子) 英語科で支援を行っている。九州沖縄大会ではよい成績をあげた。(文)	A(学) B(文)	A		今年度通り支援したい。(学生主事) 継続(文)
42	外	1	(2)	②	情報セキュリティ科目の全学科導入検討(H28外部評価委員会)	○									○	○	○	○	○						1年生に対しケータイ安全教室を実施。全クラスのHRで機構指定の講習を受けさせるとともに、誓約書を提出させている。情報リテラシーについては現在は各学科の情報関係の科目で取り扱っている。(教務主事) H31年度新カリキュラムの情報系科目の中でセキュリティ関連を導入した。(機械) H31年度カリキュラムから同科目を必修科目として開講する。(電気電子) 情報セキュリティ科目を導入している。(制御) 平成31年度カリキュラム改訂を控え、本年度の変更は行わなかった。(生化) H31年度カリキュラム改正に伴い、情報処理の授業で取り入れる。(材料シ)	A(教) A(機) A(電) A(制) C(生) A(材)	A		次年度も同様に実施する(教務主事)。 H31年度新カリキュラムの情報関係の授業で導入予定。(機械) 達成完了した。(電気電子) H29年度改正カリキュラムに情報セキュリティ科目が導入しているため、次年度も実施する。(制御) 次年度導入予定(生化)
43	JB	1	(2)	②	技術者像、到達目標、学習・教育目標の基準(a)(i)への配慮検討(JABEE基準1、3、4)										○										H30年10月28、29日の中間審査に向けて自己点検書を改めた。(機械) 毎年JABEE目標の周知を行って反復継続を維持している。(電気電子)	A(機)	A		継続的に実施する。(機械)
44	JB	1	(2)	②	学習・教育到達目標と科目との適合性検討(JABEE基準2、3)														○						平成31年度カリキュラムに従い検討を進める。(電気電子) 実施している。(材料シ)	A(材)	A		
45	JB	1	(2)	②	学習・教育達成目標に関する社会の要求や学生の要望への配慮検討(JABEE基準1、4)											○									授業アンケート結果の検討をする。(電気電子)	C(電)	C		学科運営会議で取り上げることを検討する。(電気電子)
46	JB	1	(2)	②	地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養への配慮検討(JABEE基準1)										○										H30年10月28、29日の中間審査に向けて自己点検書を改めた。(機械) 本科の設計関連科目、専攻科の地球環境と生物学などのコア科目と授業の中で留意している。(電気電子)	A(機)	A		継続的に実施する。(機械)
47	認	1	(2)	③	学生の授業評価アンケート実施、分析及び対策検討	○																			前期アンケートを実した。今年度はOFFICE365を用いた。(教務主事) 前期末にアンケート結果が配布されたので次回の学科運営委員会で討議をする。(電気電子)	A(教)	A	A	次年度も同様に実施する(教務主事)。

48	Ⅰ	1	(2)	③	学生の授業評価アンケートのWeb上での実施検討	○																		○	OFFICE365で実施した。(教務主事) 全校での実施は前期になされた。学科関連科目でデータの入力者数について用紙によるものと比較する。(電気電子)	A(教)	A		次年度も同様に実施する(教務主事)。
49	外	1	(2)	③	学生の授業評価アンケート項目の見直し検討(H25外部評価委員会)	○																			結果の変化が分かるように昨年度と同様の内容とした。(教務主事) 全校向けのアンケートは企画委員会で審議頂きたい。(電気電子)	A(教)	A		次年度も同様に実施する(教務主事)。
50	Ⅰ	1	(2)	③	学生の授業評価アンケート結果に基づく教員の自己評価実施	○																			昨年度と同様に実施予定。(教務主事) 毎年、各教員がアンケート結果についてコメントを書いている。学科運営会議で取扱いを議論する。(電気電子)	A(教)	A		次年度も同様に実施する(教務主事)。
51	認	1	(2)	③	卒業生・修了生アンケートの実施、分析及び対策検討					○															1月末にWebアンケートを実施し、その内容を2月の自己点検評価委員会で報告する予定である。(企画主事) 昨年度実施分について未検討。次回実施までに検討。(電気電子)	A(企)	A		次年度も引き続き実施する。(企画主事)
52	認	1	(2)	③	△卒業生・修了生アンケート項目の具体化検討					○															自己評価委員会にてアンケート項目を提示・意見募集したが意見がなかった。(企画主事) 学科単独で実施してきた項目を参考にしたいが、学科独自の項目を除けば参考になるか後期検討する。(電気電子)	B(企)	B		引き続き検討する。(企画主事)
53	Ⅰ	1	(2)	③	卒業生・修了生アンケートのWeb入力者数増加対策の実施(卒業生修了生アンケート)					○															担任へのメールでの周知依頼に加え、運営委員会で学科長に依頼する。(企画主事) 入力を促す案を学科運営会議で検討。(電気電子)	A(企)	A		引き続き検討する。(企画主事)
54	Ⅰ	1	(2)	③	授業改善を行うためのPDCAサイクル運用	○																			授業評価アンケートをOFFICE365を用いて実施したため集計が早くなった. (教務主事) 学科運営会議で学生の状況に関する情報交換を行い、授業、指導の充実を図り小集団でのPDCAを活用している。(電気電子)	A(教)	A		次年度も同様に実施する(教務主事)。
55	Ⅰ	1	(2)	③	学習教育目標の達成度評価方法の検討	○			○																未検討。(教務主事) 専攻科の学習教育目標は各コースJABEEの学習教育到達目標と統一しており、達成度の評価はシラバスに従って各コースで実施している。達成している論拠はJABEEの修了認定で担保している。(専攻科主事) 専攻科生は面接と自己評価で行ってきた。本科生について種々学科運営会議で検討する。(電気電子)	A(教) A(専)	A		次期主事室で検討する(教務主事)。 継続して実施していく(専攻科主事)
56	Ⅰ	1	(2)	④	全国的な競技会やコンテストへの参加支援		○																		スポーツ関係では、団体としては女子バレーボール部、硬式野球部、弓道部が全国大会に出場し、バレーボール女子は全国大会優勝、硬式野球は全国大会準優勝であった。全国大会出場は逃したものの、バスケットボール男女および剣道女子が九州沖縄地区高専体育大会において第3位だった。個人としては、陸上競技、水泳において全国大会出場を果たした。(学生主事) 昨年に続き、社会実装コンテストへの参加を推進する教員が、学生に参加の場を段取りしている。(電気電子)	A(学)	A	A	今年度参加した大会には参加できるように、また、新たな大会にはできるだけ参加しやすいように支援していきたい。(学生主事)
57	Ⅰ	1	(2)	⑤	社会奉仕体験活動や自然体験活動への参加支援		○																		学生会のボランティア活動として、6月に献血、9月に清掃活動を実施した。9月の清掃活動には約100名が集まり、校内、学校周辺、市道の清掃も行った。(学生主事) 2020オリンピックのボランティア希望の学生がおり教務主事に対応について検討を依頼した。(電気電子)	A(学)	A	A	今年度同様、学生会に小森野地区の清掃活動などを企画させ、地域に愛される高専を目指したい。(学生主事)
58	Ⅰ	1	(2)	⑤	1年生合宿研修の実施		○																		4月27日、28日に実施した。今年度も学生会主導で実施し、中央執行委員の良い研修となった。(学生主事) 実施、学科から説明者を派遣した。(電気電子)	A(学)	A		4月26日、27日で実施の予定。学生会の活躍に期待している。(学生主事)
59	Ⅰ	1	(2)	⑤	特別活動の実施	△	○																		ほぼ週に一度のペースで特別活動を実施し、教務関連事項や学生生活にかかわる情報を学生に周知している。そのほかにも交通講話・暴力団排除教育・ケータイ安全教室(1年生対象)、ビジネスマナー講習会(4年生対象)を実施した。(学生主事) 電気電子工学科キャリアアップセミナを年内に計画している。(電気電子)	A(教) A(学)	A		次年度も同様に実施する(教務主事)。 今年度同様に実施する予定である。(学生主事)
60	Ⅰ	1	(2)	⑥	学生自身による達成度点検の実施										○	○	○	○	○						JABEE対応で専攻科入学時の中間面接、修了時の終了面接で行っている。(機械) 専攻科学生は面接を行って対応。平成30年度本科1年生は数名の教員で面接担当を決めて実施した。(電気電子) JABEE対応で専攻科入学時の中間面接、修了時の終了面接で行っている。(電気電子) 電気電子工作実習(1年後期)で達成度の自己評価アンケートを実施した。(電気電子) 卒業生・専攻科生に対しアンケート調査を実施していた。(制御) JABEE自己点検評価シートを用いて実施した。(生化) 専攻科学生で実施している。(材料シ)	A(機) C(電) A(制) A(生) A(材)	A	B	次年度も、今年度と同様に機械コースの専攻科1年生に対して、本科での達成度自己評価を実施する。(機械) 専攻科進学者については完了。本科生について検討継続。(電気電子) 次年度実施する予定。(制御) 次年度も実施予定(生化)
61	認 外	1	(2)	⑥	専攻科修了生の就職先企業を対象としたアンケート調査実施、分析及び対策検討 (H29外部評価委員会)										○	○	○	○	○						実施を検討中。(機械) 専攻科委員会/専攻科主事室での検討を希望する。過去、学科主導で実施したが、カリキュラム改正、学生指導など校務繁忙で実施検討するマンパワーが今年度は特に不足している。(電気電子) 実施していない。(制御) 本年度はアンケート調査を実施していない。(生化) 企業向けアンケート案を作成中で、学科運営会議で審議後実施予定(材料シ)	A(機) B(電) C(生) A(材)	B		実施を検討する。(機械) 毎年度の実施ではなく、JABEE審査の間隔を考慮して過去実施。次回もそれを踏襲する。(電気電子) 現在実施していないが、今後実施できるかを検討したい。(制御) JABEE審査を目途にアンケートの実施を計画しており、次年度実施の予定は無い(生化) 求人関連で来校した企業を対象にアンケートを実施する。(材料シ)
			(3)優れた教員の確保																												
62	Ⅰ	1	(3)	①	教員の適正配置(教授・准教授,学校・学科教員数)	○									○	○	○	○	○	○	○				適宜昇任人事を行い、適正な教授・準教授・講師・助教の配置に努めている. (教務主事) 田中、谷野両准教授の教授昇任に伴い、教授が4名から6名に増加し、准教授が6名から4名となった。(機械) 退職教員の後任補充を目下、継続中で、3回目の公募をする。前回2回とも採用候補者が辞退。(電気電子)再度公募を実施、H31年度4月1日発令の候補者を決定した。(電気電子)H30年4月1日付けで教授5名体制確保の後、平成31年度は欠員を充足し定員体制を達成の見込みだが、H30年度中の達成は叶わなかった(電気電子) 適正配置をしている。(制御) 冨岡教授が2年間の教員交流(介護)のため教授が5、准教授が5、学科教員数は11名となった。 但し、辻教授及び渡邊准教授は一般科目(理科)へ配置換えとなり併任である。(生化) 教授4名、准教授3名、助教3名(材料シ) 教授4名、准教授7名で適正である。学科教員数については同居支援に派遣された教員が2名おり、他学科の人員を借りて適正配置の状態になっている。(文)	A(教) A(機) B(電) A(制) A(生) A(材) B(文) A(理)	A	A	次年度も同様に実施する(教務主事)。 予定なし。(機械) 来年度は充足状態になり適性化完了。(電気電子) 現在教員適正配置を念頭において教員公募を実施している。次年度再公募を行う場合、同様に適正配置を考慮する。(制御) 次年度も適性配置を目指す(生化) 継続(文)
63	Ⅰ	1	(3)	①	退職教員の1年間不補充への対応検討	○									○	○	○	○	○	○	○				教育体制整備に伴い計画的に人員削減を実施する予定。その対策として、平成31年度にカリキュラム改正を実施し、教員の負担増を避ける。(教務主事) 該当なし。(機械) 将来の定年退職教員発生時に向け検討する。(電気電子) 検討している。(制御) 本年度は該当なし。(生化) フルタイム再雇用教員退職後の補充無し(材料シ) 退職教員(国語)の1年間不補充の対応をしている。(文)	A(教) A(機) C(電) A(制) A(生) A(材) A(文)	A		次年度も同様に実施する(教務主事)。 該当なし。(機械) 検討を継続する。(電気電子) 今年度を退職教員の補充について検討をした結果、公募することにしましたが、来年度も不補充するかどうかを検討する予定。(制御) 検討する(生化) 継続(文)
64	Ⅰ	1	(3)	①	教育体制整備に係る教員人員枠管理等の計画試案の点検・見直し(第1回運営委員会)	○				○					△	△	△	△	△	△	△	○			平成35年度の教員定員68名(一般22名、機械・電気・制御・材料9名、生化10名)を前提として、カリキュラム改正等の検討を行った。その後機構から制約条件の変更の可能性があることが通達されたため、その制約条件を待って再検討する。(企画主事) H31年度の本科全学年カリキュラム改訂で対応、専攻科は未検討。 (電気電子) カリキュラム改正を行った。(生化) 検討中(材料シ) 設置基準に沿っている。(文)	A(企) B(電) A(生) A(材) B(文)	A		引き続き検討する。(企画主事) 専攻科対応を検討。(電気電子) 新カリキュラムを実施する(生化) 継続(文)

65	Ⅰ	1	(3)	①	公募制による教員採用	○										○	○	○	○	○	○	○			電気電子工学科・制御情報工学科において採用を実施中.（教務主事） 該当なし。（機械） 実施継続中であるが、専門科目教員の応募者数が少なくなっている印象がある。病気休職ご退職者の補充を3回目の公募で充足の目途が立った。反復公募による充足であった。（電気電子） 実施する予定。（制御） 本年度は該当なし。（生化） 採用無し。（材料シ） 公募で採用している。（文）	A（教） A（機） A（電） A（制） A（生） A（文） A（理）	A		次年度も同様に実施する（教務主事）。 該当なし。（機械） 欠員を生じれば公募を実施する。（電気電子） 今年度は教員公募を実施したが、必要に応じて次年度も公募を実施する。（制御） 実施予定（生化） 採用計画なし（材料シ） 継続（文）
66	Ⅰ	1	(3)	①	多様なキャリアを有する教員の採用	○										○	○	○	○	○	○	○			民間企業経験者・高専の卒業生・留学経験を有する教員等多様なキャリアを持つ教員で構成されている.（教務主事） 民間企業経験者が4名いる。（機械） 当学科は多様な経歴の教員が多い。新規採用にあっても適性に高い教員採用を進める。企業経験者、名、国際化対応経歴者、大学での教育・研究経験者で構成している。（電気電子） 現状ではそうなっている。（制御） 現状、大学経験者3、企業経験者2、大学・企業経験者1名が所属している。（生化） 採用無し。（材料シ） 企業勤務経験がある国語教員を採用した。（文）	A（機） A（電） A（制） A（生） A（文） A（理）	A		該当なし。（機械） 公募時には検討する。（電気電子） 教員公募にいて多様なキャリアを考慮する。（制御） 検討する（生化） 採用計画なし（材料シ） 継続（文）
67	認	1	(3)	①	△科目担当教員（本科・専攻科）専門分野・経歴・資格管理一覧表作成																		○		各教員の基礎データとして所属学科ごとの「教員履歴表」を作成している。なお、詳細なデータは人事記録として保管している。（総務課） 認定専攻科、特例適用の審査情報が総務係にあるので、個人情報の管理を適正に行い作成を依頼したい。（電気電子）	A（総）	A		次年度以降も引き続き適切な管理の下、実施していく。（総務課）
68	Ⅰ	1	(3)	②	高専間及び技術科学大学との教員交流実施	○										○	○	○	○	○	○	○			同居支援プログラムとして3名・人事交流により1名転出。（教務主事） 該当なし。（機械） 過去当学科には2名の高専教員が交流で配置され、また1名が他高専に交流で派遣されている。調整可能な範囲で継続して進める。（電気電子） 個別教員による共同研究等を行っている。（制御） 2年間の教員交流（介護）により新居浜高専に1名赴任している。（生化） 教員交流無し。（材料シ） 実施していない。（文）	A（教） A（機） A（電） A（制） A（生） C（文） A（理）	A	A	次年度も同様に実施する（教務主事）。 該当なし。（機械） 過去に実施している。年度内に要請が有れば対応。（電気電子） 個別教員による共同研究は引き続き実施する可能性がある。（制御） 次年度は予定なし（生化） 計画なし（材料シ） 計画はない。（文）
69	外	1	(3)	②	大学とのクロスアポイントメント制度導入検討(H28外部評価委員会)	○																	○		材料システム工学科周准教授が九大水素の研究メンバーとして兼業している。（教務主事） 学科レベルでのクロスアポイントメント制への初対応は困難であり、学校運営のなかでの検討を期待する。（電気電子）	A（教）	A		次年度も同様に実施する（教務主事）。
70	Ⅰ	1	(3)	②	機構の企業内研修制度動向把握	○																			把握するように努めており、告知があれば本務に支障がない範囲での参加を促している。（教務主事） 企業内研修への応募者は現在のところない。（電気電子）	A（教）	A		次年度も同様に実施する（教務主事）。
71	Ⅰ	1	(3)	③	博士の学位同等（専門学科と一般理科）の教育能力を有する教員の新規採用	○										○	○	○	○	○		○			採用条件として「博士の学位を有するもの。または、数年以内に博士の学位取得が可能であるもの。」を公募の条件としている.（教務主事） 該当なし。（機械） 同基準に沿って採用活動（公募）を実施している。（電気電子） 教員公募を実施する場合、このように規定している。（制御） 本年度は該当なし。（生化） 採用無し。（材料シ）	A（教） A（電） A（制） A（生） A（文） A（理）	A	A	次年度も同様に実施する（教務主事）。 該当なし。（機械） 継続（電気電子） 実施予定（生化） 採用計画なし（材料シ）
72	Ⅰ	1	(3)	③	修士の学位同等（一般文科）の教育能力を有する教員の新規採用	○															○				該当せず。（電気電子） 今年度修士の学位を持つ教員を新規採用し、その教員は9月に博士の学位を取得した。（文）	A（文）	A		
73	Ⅰ	1	(3)	③	博士の学位同等（専門学科と一般理科）の教育能力を有する教員比率70%以上	○										○	○	○	○	○		○			機械工学科　11名全員 電気電子工学科　9名中9名 制御情報工学科　11名中10名 生物応用化学科　12名中11名 材料システム工学科　10名中10名 一般理科　　11名中9名　4/1現在定員内教員で算出（教務主事） 現状100%に満たしている。（制御） 11名中8名が学位取得。（理）	A（教） A（機） A（電） A（制） A（生） A（材） A（理）	A		次年度も同様に実施する（教務主事）。 教員全員が、博士の学位を有する。（機械） 継続（電気電子） 次年度も達成（生化）
74	Ⅰ	1	(3)	③	修士の学位同等（一般文科）の教育能力を有する教員比率80%以上	○															○				一般文科　修士以上　12名中11名 修士号取得者5名、博士号取得者6名であり、比率をみたしている。（教務主事） 該当せず。（電気電子） 達成している。（文）	A（教） A（文）	A		次年度も同様に実施する（教務主事）。 継続（文）
75	Ⅰ	1	(3)	④	教員採用において女性志願者が増加する工夫の実施	○										○	○	○	○	○	○	○			能力が同等と認められる場合は女性を優先することを公募要領に記述している.（教務主事） ポスドク女性, 博士後期課程在学中の女子学生を対象とする高専教員体験インターンシップを本年度も開催する。（教務主事） 新規採用にあたり, 応募資格に能力が同等と認められる場合は、女性を優先すると記載している。（機械） 公募の中で、同等のレベルの志願者であれば女性採用を進める旨文章で示している。（電気電子） 教員公募の場合女性教員を積極的に採用すると定めている。（制御） 一昨年度は、女性研究者のインターンシップを受入れた。今年度は応募が無かった。（生化） 女性インターンシップ受入を公募したが、応募者なし（材料シ） 公募の要件に、同等の能力がある場合は女性を採用すると明記している。（文）	A（教） A（機） A（電） A（制） A（生） A（材） A（文） B（理）	A	A	次年度も同様に実施する（教務主事）。 公募時に女性教員を優先的に採用する旨の記載を行う。（機械） 継続（電気電子） 教員公募を実施する場合、女性教員を積極的に採用したい。（制御） 次年度も実施予定（生化） 来年度も引き続き、女性研究者のインターンシップを受け入れる。（材料シ） 継続（文）
76	Ⅰ	1	(3)	⑤	高専機構主催の教員研修、全国高専フォーラムへの教員派遣	○										○	○	○	○	○	○	○			新任教員研修に本年度採用1名、中堅教員研修に1名、管理職研修に1名が参加した.（教務主事） 今年度は一 日体験入学と高専フォーラムの日程が重なり参加が困難であったが、MCC関連と情報関係に参加していただいた。（教務主事） 該当なし。（機械） 8月に准教授1名が中堅教員の研修会に参加した。（電気電子） 該当なし。（制御） 全国高専フォーラムに教員を派遣した。（生化） 小袋助教参加（材料シ） 派遣している。（文）	A（教） A（機） A（電） A（生） A（材） A（文） B（理）	A	A	次年度も同様に実施する（教務主事）。 派遣を検討している。（機械） 継続（電気電子） 次年度は未定（生化） 来年度も教員の派遣を計画する（材料シ） 継続（文） できるだけ派遣する。（理）
77	Ⅰ	1	(3)	⑤	教育改善会議の企画運営					○															年2回のテーマと担当部署を調整した。第1回は総合情報センター主催による「Office365,Blackboardの紹介と実演」の講演会を実施した。第2回は学生主事室主催による「学生の事件・事故の予防と対応 ～学生の自死予防を中心に～」の講演会を実施した。（企画主事） 前期、教員相互の授業参観ができなかった。後期に企画し授業改善に結びつける。（電気電子）	A（企） A（生） B（文）	A		次年度も引き続き実施する。（企画主事）
78	Ⅰ	1	(3)	⑥	「功労賞」の募集、審査、授与、表彰の実施	○																			募集予定.（教務主事） 該当者が出れば積極的に推薦する。（電気電子）		C	A	次年度も同様に実施する（教務主事）。
79	JB	1	(3)	⑥	教育活動の評価および授業参観の評価によると顕彰の検討（JABEE基準2）	○										○	○	○	○	○					教員による授業参観件数を増やすために教務委員に、授業参観をお願いした。（教務主事） 学校の規定により、実施している。（機械） 前期、教員相互の授業参観ができなかったが、後期に学科内の参観を企画した。授業改善会議（3月）を開催する。（電気電子） 学生による評価が実施されている。（制御） 学校の規定に従っている。（生化） 特に新規採用職員を対象に、相互授業参観を行った。（材料シ）	A（教） A（機） A（電） A（制） A（生） A（材）	A		次年度も同様に実施する（教務主事）。 今年度と同様に実施予定。（機械） 継続（電気電子） 次年度も実施する。（制御） 次年度も同様（生化）

80	Ⅰ	1	(3)	⑥	機構実施の「教員顕彰制度」への推薦	○																		例年通り実施した．（教務主事）	A（教）	A		次年度も同様に実施する（教務主事）。
81	Ⅰ	1	(3)	⑦	国内外研究員の派遣	○										△	△	△	△	△	△	△		平成30年度は一般理科数学の菖田准教授が米国に語学留学した。（教務主事） 該当なし。（機械） 平成30年度は、1名欠員の状況にあり学科のマンパワー不足で派遣できる余力はない。将来定員充足後、希望者があれば検討する。全校規模での検討を希望する。（電気電子） タイの大学との共同研究に教員を派遣していた。（制御） 中国政府による日本の若手科学技術関係者の招へいプログラムに萩原准教授が参加した。（生化） 該当無し（材料シ） 希望者がなく派遣していない。（文）	A（教） C（機） C（電） A（生）	A	A	次年度も同様に実施する（教務主事）。 積極的に推進する。（機械） 未定（生化） 希望者があれば派遣を検討する。（材料シ）
82	Ⅰ	1	(3)	⑦	教員の国際学会での発表促進	○										○	○	○	○	○	○	○		教育研究助成による補助を若手教員に行っている．（教務主事） 発表を促進している。（機械） 積極的に参加を推奨しており、今年度すでに複数名実施している。（電気電子） 各教員による活動を行っている。（制御） 本年度も発表している。（生化） 国際学会での発表3件（材料シ） 今年度はいない。（文） 本年度１名が国際学会で研究発表。（理）	A（教） A（機） A（電） A（制） A（生） A（材） B（理）	A		次年度も同様に実施する（教務主事）。 積極的に推進する。（機械） 継続（電気電子） 各教員による活動の実施がある。（制御） 促進予定（生化） 来年度も教員の派遣を計画する(材料シ)
83	Ⅰ	1	(3)	⑧	教員採用・昇格に関する基準・規定の適正運用	○										○	○	○	○	○	○	○		採用については募集要項確認，調査委員の選定，選考まで規則に従って人事連絡委員会で審議・承認している．また、校長より校長裁定として昇任基準が示され，これにそった昇任審査を行っている．（教務主事） 適性に運用している。（機械） 適性な運用に従っている。（電気電子） 学校の規定に基づき適正運用をしている。（制御） 適性に運用している。（生化） 適正運用（材料シ） 適正に運用している。女性教員を採用した。（文）	A（教） A（機） A（電） A（制） A（生） A（材） A（文） A（理）	A	A	次年度も同様に実施する（教務主事）。 今年度と同様に実施予定。（機械） 継続実施（電気電子） 教員採用・昇格がある場合、引続き適正に運用する。（制御） 適性運用する（生化） 来年度も引き続き実施する。（材料シ） 継続（文）
84	Ⅰ	1	(3)	⑧	紀要の教授・准教授昇任要件における査読付き論文に準ずる扱いの検討	○			○															結論はだせていない．（教務主事） 該当なし。（専攻科主事）	A（教）	A		次年度も同様に検討する（教務主事）。
			(4)教育の質の向上・改善																									
85	Ⅰ	1	(4)	①	モデルコアカリキュラムの導入状況の点検・改善(第1回運営委員会)	○										△	△	△	△	△	△	△	○	平成30年度は100%を達成・平成31年度はカリキュラムを変えたため、現在100%達成に向けてシラバス入力中。（教務主事） モデルコアカリキュラムへの対応を考慮し、Webシラバスに記載している。（機械） H30年度シラバス作成時に点検。H31年度も新規科目多いので漏れを生じないよう留意し対応する。Webシラバスシステムで達成を確認した。（電気電子） 実施した。（制御） モデルコアカリキュラムへの対応を考慮し、Webシラバスに記入している。（生化） モデルコアカリキュラムへの対応を行っている。詳細な対応状況はwebシラバスに記載している。（材料シ） 導入している。（文）	A（教） A（機） A（電） A（生） A（材） A（文）	A	A	次年度も同様に検討する（教務主事）。 今年度と同様に実施予定。（機械） 継続実施（電気電子） 同様に行う（生化） 来年度も引き続き実施する。（材料シ） 継続（文）
86	Ⅰ	1	(4)	①	Webシラバスの取りまとめ校としての対応	○																		和泉先生を中心に対応している。（教務主事） 教務委員会、教務主事室のなかで実施されている。（電気電子）	A（教）	A		次年度も同様に検討する（教務主事）。
87	Ⅰ	1	(4)	①	ICT活用教育取組み実情の把握及び導入検討	○										△	△	△	△	△	△	△		新カリキュラムに導入できるか情報収集を行っている．（教務主事） CAD演習、機械要素設計実験、機械工学実験（FEMによる弾性解析）などで、ICT活用教育に対しては十分に取組みを行っている。（機械） L1、L3、CAD等を活用した講義や演習を実施している。充実については検討を継続する。（電気電子） 実施している。（制御） CBTに参加した。（生化） CBT問題作成に参加している（材料シ） 英語科ではNet Academyを活用している。（文）	A（教） A（機） C（電） A（生） A（材） A（文）	A		次年度も同様に調査・検討する（教務主事）。 今年度と同様に実施予定。（機械） 継続（電気電子） 実施予定（生化） 継続（文）
88	Ⅰ	1	(4)	①	教材共有化の他高専の取り組み状況把握	○										△	△	△	△	△	△	△		情報収集を検討中．（教務主事） 各教員で問題を共有化し、状況等整理した。（機械） 当学科のみで可能な情報把握をする。全高専に向けたアンケート調査結果があれば活用したい。（電気電子） 該当なし。（制御） 情報収集している。（生化） 材料分野の教材共有ネットワークに参加している。 今後教材共有化のネットワークを活用することを検討する。（材料シ） 特になし。（文）	A（教） A（機） C（電） A（生） A（材） A（文）	A		次年度も同様に検討する（教務主事）。 今年度と同様に実施予定。（機械） 情報収集を促進し継続（電気電子） 検討する（生化） 来年度も引き続き実施する。（材料シ） 計画はない。（文）
89	Ⅰ	1	(4)	①	機構主催アクティブラーニング研修、ルーブリック評価研修等への参加	○																		学生カルテ整備の研修に参加した（教務主事） 旅費、日程などを勘案しながら対応したい。（電気電子）	A（教）	A		次年度も同様に実施する（教務主事）。
90	Ⅰ	1	(4)	①	アクティブラーニングを導入した授業の検討											○	○	○	○	○	○	○		一部の授業ですでに導入している。（機械） 専門科目(1年、2年の演習科目）高学年の実験などをはじめとして導入を進めている。（電気電子） 該当なし。（制御） 授業の一部で用いられている。（生化） 一部の授業で取り入れている（材料シ） 社会科を中心に行なっている。（文） 検討している。（理）	A（機） A（電） A（生） A（材） B（文） B（理）	A		今年度と同様に実施予定。（機械） 導入を継続実施する（電気電子） 同様に行う（生化） 来年度も引き続き実施する。（材料シ） 継続（文） 導入を検討する。（理）
91	Ⅰ	1	(4)	①	ルーブリック等による学生の到達目標を設定した授業の検討											○	○	○	○	○	○	○		Webシラバスに記載した内容に沿って検討実施している。（機械） Webシラバスに明記し授業を展開している。（電気電子） シラバスには明記している。（制御） Webシラバスを用いている。（生化） シラバスシステムを活用し、ルーブリック等による学生の到達目標を設定した授業を実施している。（材料シ） 検討している。（文） 検討して実施している。（理）	A（機） A（電） A（制） A（生） A（材） B（文） B（理）	A		Webシラバスを活用して実施する。（機械） 継続実施（電気電子） 次年度のシラバスに明記している。（制御） 同様に行う（生化） 来年度も引き続き実施する。（材料シ） 継続（文） 引き続き実施する。（理）
92	Ⅰ	1	(4)	①	高専学生情報統合システムの機構整備状況の動向把握	○																		情報収集について検討中．（教務主事）	A（教）	A		次年度も同様に検討する（教務主事）。
93	Ⅰ	1	(4)	②	学位認定者のJABEEプログラム修了認定及び認定の通知				○							○	○	○	○	○				専攻科修了証書授与の際にJABEE修了認定書の交付ができるよう各プログラムでの修了確認を5月から2月へ変更した後、継続して実施してきている。（専攻科主事） 学位認定者のJABEEプログラム修了認定及び認定の通知を行った。（機械） 専攻科入学時の中間面接、終了直前の修了面接を経て修了式で修了証の伝達している。（電気電子） 行っている。（制御） 修了認定を行い、通知した。（生化） 学位認定者のJABEEプログラム修了認定及び認定の通知を行った（材料シ）	A（専） A（機） A（電） A（制） A（生） A（材）	A	A	来年度以降も同様に実施する（専攻科主事） 今年度と同様に実施予定。（機械） 継続実施（電気電子） 次年度も実施する。（制御） 同様に行う（生化） 来年度も引き続き実施する。（材料シ）

94	Ⅰ	1	(4)	②	JABEEプログラム学習・教育目標及びそれを達成するために必要な授業科目の流れ図の点検並びに公開				○							○	○	○	○	○				各プログラム毎で公開しているHP上へ専攻科HPからリンクを貼っているが、確実に公開されているかの点検については未実施。(専攻科主事) シラバスに公開している。(機械) シラバスに公開、H31年度カリキュラム改訂に従ったH31年度向け修正を検討準備中。(電気電子) 実施している。(制御) 更新し、公開している。(生化) 公開している(材料シ)	B(専) A(機) C(電) A(制) A(生) A(材)	B		継続して点検していく(専攻科主事) 今年度と同様に実施予定。(機械) 新カリキュラム用に確認整備する(電気電子) 次年度も実施する。(制御) 同様に行う(生化) 来年度も引き続き実施する。(材料シ)
95		1	(4)	②	JABEE年次報告書提出											○	○	○	○	○				提出した。(機械) 提出済み。(電気電子) 報告した。(制御) 提出した。(生化) 8月31日提出済み(材料シ)	A(機) A(電) A(制) A(生) A(材)	A		今年度と同様に実施予定。(機械) 継続実施(電気電子) 今年度実施する予定だが、次年度も実施する。(制御) 同様に行う(生化) 来年度も引き続き実施する。(材料シ)
96	外	1	(4)	②	JABEE継続・非継続の検討(H28外部評価委員会)				○							△	△	△	△	△				本年度開催のJABEE委員会にてメリットやデメリットを抽出し、継続・非継続について検討する。本年度11月に機械工学プログラムにて中間審査を受審し、継続が認められた。(専攻科主事) 学科運営会議において検討を行っている。(機械) 学科内の意見として継続・非継続それぞれに主張根拠があり結論に至っていない。(電気電子) 検討したがははあくしていない。(制御) 学科JABEE委員を通じて、JABEE委員会で検討している。(生化) 検討中(材料シ)	B(専) A(機) C(電) A(生) A(材)	A		継続して検討していく(専攻科主事) 今年度と同様に実施予定。(機械) 検討を継続(電気電子) 同様に行う(生化) 来年度も引き続き検討する。(材料シ)
97	Ⅰ	1	(4)	②	資格試験や検定試験の受講に対する支援											○	○	○	○	○	○	○		日本機械学会の計算力学技術者認定の公認講習会になっている機械工学実験(FEMによる弾性解析)を実施した。CAD技能検定(CSWA)の勉強会、試験を実施した。(機械) ポスターの掲示により申請時期、準備の喚起をしている。また参考書などを開示ている。(電気電子) 該当なし。(制御) QC検定や危険物甲種の受験を奨励している。(生化) 該当無し(材料シ) TOEICや英検の受験に対する支援を行っている。(文)	A(機) A(電) A(生) A(文) B(理)	A		今年度と同様に実施予定。(機械) 同様の支援を継続する(電気電子) 同様に行う(生化) 継続(文)
98	Ⅰ	1	(4)	③	専攻科サマーレクチャーの実施検討				○							△	△	△	△	△				平成30年度は制御情報工学コース主催にて開催した。(専攻科主事) 該当なし。(機械) 平成29年度に実施したのでH30年度は実施しない。(電気電子) 今年度実施した。(制御) 本年度は該当なし。(生化) 該当無し(材料シ)	A(専) A(機) B(電) C(生)	A	A	来年度は機械工学科にて実施を検討する(専攻科主事) H31年9月末に実施を予定している。(機) ローテーションに従って実施(電気電子) 次年度も実施予定は無い(生化)
99	Ⅰ	1	(4)	④	創造性を育む教育方法の工夫		○		○							○	○	○	○	○	○	○		創造工学実験等創造性を育む科目を実施した。(教務主事) 専攻科1年生での平成30年度創造工学実験についてコースを超えた検討会を実施した。(専攻科主事) 5年の機械要素設計実験で、ウインチ、風車などを自由度をもたせて設計、試作をさせている。(機械) 専攻科では創造工学実験(必修科目)を特色科目として継続実施。本科では低学年からの専門演習の導入でアクテウィブラーニングを活用し創造性の育成に努めている。(電気電子) 専攻科の創造工学実験ではそのようにしている。(制御) テーマ企画から実験遂行。報告書作成までを行う創造工学実験を実施している。(生化) 専攻科1年生において創造工学実験の授業を行っている。(材料シ)	A(教) A(専) A(機) A(電) A(制) A(生) A(材) A(文) B(理)	A	A	次年度も同様実施する(教務主事)。 継続して実施していく(専攻科主事) 今年度と同様に実施予定。(機械) 専門演習科目を継続(電気電子) 次年度実施する。(制御) 同様に行う(生化) 継続(文)
100	Ⅰ	1	(4)	④	各学科の教育に関する特色ある取組みの促進											○	○	○	○	○	○	○		CAD/CAM/CAEに加えて、CAD/CAM/CAEにより設計、製作したものの実証実験までを行っており、それによる技術者としての実務能力向上をめざすことを特色とする機械要素設計実験の前期分を実施した。(機械) 電気電子実践演習Ⅰ、Ⅱなど専門の実践教育科目を少人数教育で実施している。専門科目教員が早期に低学年学生に指導する機会を増し、コミュニケーション力の活用も指導している。特に、エネルギー、エレクトロニクス、ブラクテウィカルコミュニケーションの3つ柱に挙げている。 また平成31年度からは1年～3年生に電気電子演習1～3を展開。3では一部キャリアがうダンスを取り入れる計画である。(電気電子) 29年度より情報系の特色のある授業科目を新設し、今年度も開講している。(制御) 1～5年まで継続する学生実験のレポート指導を充実させると共に、グループで機械を動かす4年物化化工実験では、役割制を導入しチームワークカの育成をめざしている。(生化) 材料システム工学科として新たなカリキュラムを組み立て、「材料のゆりかごから墓場まで」を教育する事としている(材料シ) 英語科ではグループ学習やペアワークを取り入れた授業を行っている。(文) 授業を工夫して取り組んでいる。(理)	A(機) A(電) A(制) A(生) A(材) A(文) B(理)	A		今年度と同様に実施予定。(機械) カリキュラムを継続(電気電子) 次年度のカリキュラム改正により、情報系科目の強化や周辺科目の整理を行った。次年度適正に運用する。また、改正が必要となる場合は検討をしたい。(制御) 同様に行う(生化) 来年度も引き続き実施する。(材料シ) 継続(文) 授業を工夫する。(理)
101	Ⅰ	1	(4)	④	教育活動の実態を示すデータや資料の収集・蓄積		○		○							△	△	△	△	△	△	△		成績評価の根拠とした答案, レポートの10年保管を要請した。(教務主事) 各プログラムでのJABEE関連資料と別に、専攻科サーバーにデータを蓄積している。(専攻科主事) 各種データおよびファイルをOffice365 OneDriveに随時アップしている。(機械) 学科サーバーを維持し共通データを保存、共有している。答案は各教員が保管管理。(電気電子) 学科サーバーを構築し, 教育活動の全データを蓄積している。(生化) 専門各授業の最終回において、学科独自のアンケート調査を行っている(材料シ) TOEICスコアやNet Academyの活用状況等のデータや資料を収集している。(文) 1年生数学定期試験のデータや資料を蓄積、検討している。(理)	A(教) A(専) A(機) B(電) A(生) A(材) A(文)	A		次年度も同様実施する(教務主事)。 継続して実施していく(専攻科主事) 今年度と同様に実施予定。(機械) サーバーの活用を継続し代替えを検討(電気電子) 同様に行う(生化) 来年度も引き続き実施する。(材料シ) 継続(文)
102	Ⅰ	1	(4)	④	全国高専の教育方法の試み、効果的な取組事例調査及び全教員への周知		○		○	○						△	△	△	△	△	△	△		高専フォーラムに参加者を出した. (教務主事) 九州・沖縄地区高専フォーラムへの参加を検討する。本年度主催校側の都合でフォーラムが中止となった。(専攻科主事) 久留米5大学・高専IR合同会議に参加し、各大学と情報交換を行った。(企画主事) 学会、シンポジウム、フォーラムなどを通じて他高専との情報共有を進めている。(機械) 教育評価に関し、本校のA, B, C三段階評価に関連し、他高専の評価段階分けあについて調査を教務委員会に依頼した。(電気電子) 学会、シンポジウム、フォーラムなどを通じて他高専との情報共有を進めている。(生化) CBT, 教材共有、他高専への出張等で得られた知見を学科会議等で情報共有している。(材料シ) 特になし。(文)	A(教) A(専) A(企) A(機) C(電) A(生) A(材) A(文)	A		次年度も同様実施する(教務主事)。 次年度も同様な取り組みについて実施の可能性について検討する(専攻科主事) 引き続き近隣大学とも情報交換を行う(企画主事)。 今年度と同様に実施予定。(機械) 調査結果より改善の方向を探る(電気電子) 同様に行う(生化) 来年度も引き続き実施する。(材料シ) 計画はない。(文)
103	Ⅰ	1	(4)	④	異なる学科出身者が共同で取組む内容の創造工学実験への導入検討				○							△	△	△	△	△				専攻科1年生の創造工学実験にて共同で実施した。(専攻科主事) 共同での取り組みを実施した。(機械) 機械・電気システム工学専攻の創造工学実験で、機械工学コース、電気電子工学コース、制御情報工学コースの学生が互いのアイデアに対し意見を述べあう機会を設定し目的の達成に協力することを推進した。(電気電子) 専攻科の創造工学実験では所属学科の異なる学生によるディスカッションを行っている。(制御) 創造工学実験において実施した。(生化) 創造工学実験において、他学科学生とのディスカッションの時間を設け、実施した。(材料シ)	A(専) A(機) A(電) A(生) A(材)	A		継続して実施していく(専攻科主事) 今年度と同様に実施予定。(機械) 創造工学実験を継続(電気電子) 同様に行う(生化) 来年度も引き続き実施する。(材料シ)
104	Ⅰ	1	(4)	⑤	本科4年インターンシップの実施											○	○	○	○	○				夏季休暇にインターンシップに参加した。(機械) 4E学生の希望者に実施、報告会はクラス学生全員参加で情報の共有を図った。(電気電子) 実施した。(制御) 4C全員がインターンシップに参加し、報告会を行った。(生化) 実施中　報告会を10月2日開催(材料シ)	A(機) A(電) A(制) A(生) A(材)	A	A	今年度と同様に実施予定。(機械) 実施学生数の増を図る(電気電子) 次年度も実施する。(制御) 同様に行う(生化) 来年度も引き続き実施する。(材料シ)
105	Ⅰ	1	(4)	⑤	専攻科インターンシップの実施				○															1年生が夏季休暇中に実施、9月に報告会を開催した。(専攻科主事)	A(専)	A		継続して実施していく(専攻科主事)
106	Ⅰ	1	(4)	⑤	九州大学大学院総合理工学府と連携した専攻科インターンシップの実施				○															インターンシップを継続的に実施してきている。(専攻科主事)	A(専)	A		継続して実施していく(専攻科主事)

107	I	1	(4)	⑤	九州大学大学院総理工学府との連携協定の具体化(第1回運営委員会)				○														○		平成30年1月11日に包括協定に関する調印を行った後、連携強化に向けた運用事項の検討を行っている。インターンシップを活用した推薦制度を3月に実施する予定。(専攻科主事)	A(専)	A		継続して検討ならびに実施していく(専攻科主事)
108	外	1	(4)	⑤	大学、大学院との連携強化の方策検討	△			○																イングリッシュアイデアソン関連で、海外大学への教職員の派遣を検討中(教務主事)。 タイ、キングモンクットとのMOAの締結後、修正内容があり最終版の捺印を行った。 平成30年11月11日～11月15日にかけてマレーシア工科大学との国際交流事業を実施する予定である。 久留米工業大学との共同教育プログラム申請について協議を行った。久留米工業大学との連携教育プログラム(名称変更)は不採択となったが、九州大学工学部と新たに共同申請し、採択された。 九州大学との覚書の締結ならびに協議会を実施した。(専攻科主事)	A(教) A(専)	A		次年度も同様実施する(教務主事)。 連携教育プログラムの内容ならびに運用について継続的に検討ならびに実施していく。
109	I	1	(4)	⑤	キングモンクット工科大学との学士・修士併行プログラムの運用準備				○								△							○	平成30年3月に学士・修士併行プログラムの対象となる本科学生を専攻科予備プログラム教育として当該校へ派遣した。本年度は学生派遣は無しに終わった。(専攻科主事)	C(専)	A		継続した運用を検討していく(専攻科主事)
110	I	1	(4)	⑦	地域の高等教育機関との単位互換制度実施	○			△				△												高等教育コンソーシアム久留米(久留米大学・久留米工業大・聖マリア学院大学・久留米信愛女子短期大学)を組織して単位互換協定を結んでいる。(教務主事) 4大学1高専にて10月から共同講義を開催する。10月19日および23日に久留米高専教員による共同講義を実施した。(専攻科主事)	A(教) B(専)	A	A	次年度も同様実施する(教務主事)。 継続した運用を検討していく(専攻科主事)
111	I	1	(4)	⑦	大学工学部または工学系大学との共同教育課程の検討(第1回運営委員会)	○			○														○		九州大学との共同教育が進行中。(教務主事) 久留米工業大学との共同教育プログラムの平成33年度からの運用について検討を進める。久留米工業大学との連携教育プログラム(名称変更)は不採択となったが、九州大学工学部と新たに共同申請し、採択された。九州大学との覚書の締結ならびに協議会を実施した。(専攻科主事)	A(教) A(専)	A		次年度も同様実施する(教務主事)。 継続した運用を検討していく(専攻科主事)
112	I	1	(4)	⑦	技術科学大学等の理工系大学との研修会参加等による教員交流実施	○									△	△	△	△	△	△	△				技科大との交流は個人・学科レベルで実施している。(教務主事) 学科教員が豊橋技科大教員と共同研究を行っている。(電気電子) 共同研究「超臨界含浸法による二段階細孔シリカDPSへのバイメタルナノ粒子触媒の固定化技術の実用化」を通した豊橋技科大の教員との交流がある。(生化) 豊橋技術科学大学との共同研究を実施している。(小袋助教)(材料シ) 特になし。(文)	A(教) C(電) A(生) A(材) C(文)	A		次年度も同様実施する(教務主事)。 引き続き検討(機械) ベースとなる共同研究を推進(電気電子) 機会があれば同様に行う(生化) 来年度も引き続き実施する。(材料シ) 計画はない。(文)
113	I	1	(4)	⑧	教育用電子計算機システムの活用							○			○	○	○	○	○	○	○				30年度にもPC教室のPCシステムに多数トラブルが発生したが、9月にはPCへのソフトウェアの配布を工夫しほぼ解消した(総合) CAD演習、機械要素設計実験などCAD/CAEを用いる授業をIT演習室で行っており、教師用の授業支援システムなども有効に利用している。(機械) 2E、4E、5Eなど専門科目で活用している。(電気電子) 情報系の科目では活用をしている。(制御) 情報処理の授業や実験データの処理はもとより、生物学、産業財産権等でも活用している。(生化) 情報処理の授業、応用設計製図の授業、学生実験・卒研のデータ整理でL1L2教室を活用している(材料シ) 活用している。(文)	B(総) A(機) A(電) A(制) A(生) A(材) A(文) B(理)	A	A	今年度と同様に実施予定。(機械) 授業での活用を継続(電気電子) 次年度も活用する。(制御) 同様に行う(生化) 来年度も引き続き実施する。(材料シ) 継続(文)
114	I	1	(4)	⑧	コンピュータ支援語学学習(CALL)システムの活用														○						英語科ではNet Academyを活用している。(文)	A(文)	A		継続(文)
115	I	1	(4)	⑧	グローバル人材育成のための英語教育の充実(第1回運営委員会)	△													○						イングリッシュアイデアソンの実現に向けて準備中(教務主事)。 電気電子実践演習(1E、2E)の中で英語を活用する場を作っている。(電気電子) コミュニケーションを重視した英語教育を行っている。(文)	A(教) C(電) A(文)	A	A	次年度も同様実施する(教務主事)。 専門科目の中でも対応を継続(電気電子) 継続(文)
116	I	1	(4)	⑨	一般科と専門学科の連携強化	○									○	○	○	○	○	○	○				学科会議に担任が参加等学科単位で連携を図っている。また、専門教員3名が一般学科の所属となった。(教務主事) 学科会議等で学生の状況等、連携を行っている。(機械) 1年、2年担任と画家教員の情報交換の会議を定期的に実施した。(電気電子) 連携している。(制御) 一般理科化学系と連携し、4年応用化学実験、専攻科研究等を実施した。また、一般文科・理科教員と合わせて担任懇談会を行った。(生化) 卒業研究において、一般科目(理科)の教員と協力して卒業研究を行っている(材料シ) 特になし。(文)	A(教) A(機) C(電) A(制) A(生) A(材) C(文) B(理)	A	A	次期主事室で検討する(教務主事)。 今年度と同様に実施予定。(機械) 年間3回～4回の意見交換を継続(電気電子) 次年度も連携する。(制御) 同様に行う(生化) 来年度も引き続き実施する。(材料シ) 計画はない。(文)
117	I	1	(4)	⑨	学科内科目間連携										○	○	○	○	○	○	○				機械工学の主要分野である4力学に関して、CAD/CAE/CAMおよび実験により授業を行う機械要素設計実験において、各分野の教員が連携して授業を行っている。(機械) 3E～5Eの学生実験についてH31年度カリキュラムから見直しを行う。またカリキュラム変更に伴い科目相互間の内容調整を進めている。(電気電子) 今年度では連携を検討した。次年度実施する予定。(制御) 生物応用化学入門と科学技術史を生物応用化学科教員によるオムニバスの授業で実施している。また、年2回、授業改善会議を実施し、科目間の進捗状況の共有と情報交換を行い、必要に応じて授業改善を行っている。(生化) 材料工学演習は2名の教員で連携して行っている。また、学生実験においても複数の教員が連携して実施している。(材料シ) 特になし。(文) 科目間で連絡を密にし連携をとるように努めている。(理)	A(機) C(電) A(制) A(生) A(材) C(文) B(理)	A		今年度と同様に実施予定。(機械) カリキュラム改訂も併せ情報整理と情報交換素促進(電気電子) 創造工学実験などの学科横断が既に実施しており、また次年度のカリキュラム改正で本科に学科横断科目が新設している。(制御) 同様に行う(生化) 来年度も引き続き実施する。(材料シ) 計画はない。(文) 引き続き科目間の連絡を取り連携をとる。(理)
118	I	1	(4)	⑨	教育体制整備に対応しかつ本校の特色を保持したカリキュラム改正案の策定(第1回運営委員会)	○			○	○					○	○	○	○	○	○	○		○		平成31年度に向けて準備中。(教務主事) 専攻科のカリキュラムについては未検討。(専攻科主事) カリキュラム改正特別委員会で、担当コマ数の定義と基準及び特色カリキュラム等について検討し、最終答申を第5回運営委員会で報告した。(企画主事) 策定した。(機械) H31年度実施にむけカリキュラム、科目担当を定め準備の精度を高めている。(電気電子) 案をまとめたと思う。(制御) 策定した。(生化) 他学科との連携する授業を取り入れる。(材料シ) 策定した。(文)	A(教) C(専) A(企) A(機) A(電) A(制) A(生) A(材) B(文) B(理)	A		実施し、今後について検討する(教務主事)。 継続して検討して行く(専攻科主事) 本年度で終了。(企画主事) 今年度と同様に実施予定。(機械) 改正カリキュラムを実施する(生化)
119	I	1	(4)	⑨	専門学科間の連携										○	○	○	○	○						研究において、各学科が管理する研究設備を相互に利用している。また各学科の教員の専門知識について、相互に質問するなどしている。(機械) 学科間で、平成31年度から専門科目とのバランスを考慮し概論科目の内容圧縮、削除を行う案がまとまった。(電気電子) 連携している。(制御) 機械工学科と連携し、図学、機械工学概論、化学工学概論、高分子材料学の授業に相互に教員を派遣し合っている。(生化) 電気電子材料、機械材料学を材料シの教員が担当している。(材料シ)	A(機) A(電) A(制) A(生) A(材)	A		今年度と同様に実施予定。(機械) カリキュラムでまとまった内容の実践(電気電子) 次年度も連携する。(制御) 改正カリキュラムを実施する(生化) 来年度は、カリキュラム改正にあわせて実施する。(材料シ)
122	外	1	(4)	⑨	学科横断科目の導入検討(H28外部評価委員会)	○			○						○	○	○	○	○						平成31年度カリキュラム改正時に導入する。(教務主事) 専攻科教育課程では他専攻科目を4単位まで修得可能としている。また各コースの教育課程表中に学科横断科目を既に導入している。(専攻科主事) 他学科からの講義、当学科で他学科に実施する講義など相互に開講している。(機械) 学科間で、概論科目の相互持合いについて調整、H31年度より改善する案がまとまった。(電気電子) 今年度では検討した。次年度実施する予定。(制御) 専攻科では既に導入されている。本科でも導入したカリキュラムを策定した。(生化) H31年度カリキュラム改正に向け検討を行っている。(材料シ)	A(教) A(専) A(機) A(電) A(制) A(生) A(材)	A		カリキュラムを走らせる(教務主事)。 継続して実施していく(専攻科主事) 今年度と同様に実施予定。(機械) カリキュラムでまとまった内容の実践(電気電子) 次年度のカリキュラム改正で検討をした。(制御) 改正カリキュラムで実施する(生化) 来年度は、カリキュラム改正にあわせて実施する。(材料シ)
121	外	1	(4)	⑨	教員間の意思疎通を図る仕組みづくり(H29外部評価委員会)	○																			専門教員が一般科目に配置換えとなった。(教務主事)	A(教)	A		次期主事室で検討する(教務主事)。
120	JB	1	(4)	⑨	教員間連絡ネットワークの強化検討(JABEE基準2)										○				○						対面、およびメールでのネットワーク強化を行っている。(機械) 1, 2年の一般科目教員と、情報交換の場を持っている。(材料シ)	A(機) A(材)	A		今年度と同様に実施予定。(機械) 来年度も引き続き実施する。(材料シ)

123	Ⅰ	1	(4)	⑩	セメスター制の実施	○	△		△															今年度導入した。(教務主事) 該当なし。(専攻科主事)	A(教)	A	A	引き続き実施する(教務主事)。
124	外	1	(4)	⑩	英語力の達成目標の導入検討	○			△						△	△	△	△	△	△				英語科に任せている。(教務主事) H28年度の専攻科入試より英語力評価についてTOEICスコアの採用の他、推薦入試に関してもスコアを採用した。専攻科研究論文の発表会予稿に英文アブストラクト記載を必須とした。(専攻科主事) 学科目標の「コミュニケーション」には英語によるコミュニケーションも含む。(電気電子) 該当なし。(制御) 本年度該当なし。(生化) 材料システム工学科では、「到達目標：外国人留学生と文化の異なりを理解し、交流することが出来る。(材料シ) 検討していない。(文)	A(専) B(電) C(生) A(材)	A		次期主事室で検討する(教務主事)。 継続して実施していく(専攻科主事) 引き続き検討(機械) 専門演習での英語活用を継続する(電気電子) 学科単独で設ける予定は無い(生化) 来年度も引き続き実施する。(材料シ)
125	外	1	(4)	⑩	留年・休学・退学者の減少対策検討(H28外部評価委員会)	○																		及落査定会議において指導経緯の説明をしてもらうこととした。(教務主事)	A(教)	A		次年度も同様実施する(教務主事)。
126	Ⅰ	1	(4)	⑩	留年・退学・休学状況の外部公開の検討(第1回運営委員会)	○			○														○	主事室で検討中。(教務主事) 未検討(専攻科主事)	C(教) C(専)	C		次年度も検討する(教務主事)。 継続して検討していく(専攻科主事)
127	Ⅰ	1	(4)	⑩	研究活動に基づく教育の質の改善										○	○	○	○	○	○	○			学会、講演会などに参加し、最新の情報を入手し専門科目の授業に取り入れ、教育の質の改善を図った。(機械) 学会参加等外部での活動により研究の質の確保、学生の教育に資している。(電気電子) 各先生において特に卒業研究等で取り組みをしている。(制御) 学会発表、論文発表などを通して継続的に改善しており、研究成果は、卒業研究や専攻科研究におけ る学生指導に反映されている。(生化) 卒業研究、専攻科研究において外部発表を積極的に行っている。(材料シ) 各教員が研究内容を教育に生かしている。(文) 研究内容・研究成果の教材化に努めている。(理)	A(機) A(電) A(制) A(生) A(材) A(文) B(理)	A		今年度と同様に実施予定。(機械) 継続実施(電気電子) 次年度も実施する。(制御) 同様に行う(生化) 来年度も引き続き実施する。(材料シ) 継続(文) 研究内容・研究成果の教材化、授業への反映に努める。(理)
128	Ⅰ	1	(4)	⑩	教育改善会議に基づく教育の質向上や授業の改善	○																		教育改善会議において総合情報センターにOFFICE365の活用について講演していただいた。(教務主事)	A(教)	A		次年度も同様実施する(教務主事)。
129	Ⅰ	1	(4)	⑩	教員による授業参観方法見直し検討	○																△		教務委員に協力を依頼し、件数を増やす努力をしている。(教務主事)	A(教)	A		次年度も同様実施する(教務主事)。
130	Ⅰ	1	(4)	⑩	教育支援者等の研修等への参加及び教育改善会議での発表方法検討	○				○														教育改善会議に組み込んだ。(教務主事) 企画主事は担当外。(企画主事)	A(教)	A		次年度も同様実施する(教務主事)。 企画主事を担当から外す。(企画主事)
131	Ⅰ	1	(4)	⑩	コミュニケーション能力を高める取り組みの推進(卒業生修了生アンケート)										○	○	○	○	○	○	○			機械要素設計実験において、1クラスを5グループに分け、グループ内での討議内容を提出させ、成績評価の対象としている。(機械) 専門科目の電気電子実践演習では、意見の述べ方、質問の仕方、ディベートやなど基本的なコミュニケーション手法を低学年から指導している。教員採用では公募条件の事情が許す場合は英語によるプレゼンテーションを必須とした事例もあり教員採用でも可能な限りコミュニケーション力を有する教員の採用に配慮している。(電気電子) 卒業研究では研究についての議論、発表等を通してコミュニケーション能力を高めることをしている。(制御) 卒業研究、専攻科研究、インターンシップはもとより、他の授業・実験等でもパワーポイントを使った発表を行っている。(生化) 卒業研究、専攻科研究において外部発表を積極的に行っている。(材料シ) 2年生の英語演習ではネイティブの非常勤講師を配置し、コミュニケーション能力を高めている。(文)	A(機) A(電) A(制) A(生) A(材) A(文) B(理)	A		今年度と同様に実施予定。(機械) 現在の取り組みを継続実施する(電気電子) 次年度も実施する。(制御) 同様に行う(生化) 来年度も引き続き実施する。(材料シ) 継続(文)
132	Ⅰ	1	(4)	⑩	英語力・国際コミュニケーション能力を高める取り組みの推進										○	○	○	○	○	○	○			5年生後期に、選択科目「テクニカルコミュニケーション」を開講する。(機械) 専門科目の電気電子実践演習では、意見の述べ方、質問の仕方、ディベートやなど基本的な内容を英語でできるよう低学年から指導している。このことは、英語の必要性を自覚させ英語の学習に前向きに取り組む姿勢を涵養する意図している。卒業研究の発表では英語による概要録愛も可としているなどコミュニケーション祭の育成に配慮している。教員採用では公募条件の事情が許す場合は英語によるプレゼンテーションを必須とした事例もあり教員採用でも可能な限りコミュニケーション力を有する教員の採用に配慮している。(電気電子) 数名の学生をタイに派遣し、海外の学生との交流を行っていた。(制御) 本年度も、工業英語を外国人講師に担当して頂いた。また、ネットアカデミーの活用を推奨している。(生化) 4M工業英語において、少人数教育を行い取り組んでいる。(材料シ) 取組を推進している。(文)	A(機) A(電) A(制) A(生) A(材) A(文) B(理)	A		今年度と同様に実施予定。(機械) 現在の取り組みを継続実施する(電気電子) 学生の海外派遣できるか。(制御) 同様に行う(生化) 来年度も引き続き実施する。(材料シ) 継続(文)
133	Ⅰ	1	(4)	⑩	担任・クラブ顧問の手引き作成検討	○	○																	検討中であるが、担任業務は多岐にわたるため、困難である。(教務主事)	A(教)	A		次年度も検討する(教務主事)。
134	Ⅰ	1	(4)	⑩	1，2年生担任不在時の交代体制検討	○	○												○	○		○		適宜対応しているので必要ない。(教務主事) 当該クラスに授業に行っている学科内の教員がカバーするようにしている。(文) 連絡を密にするように心がけている(理)	A(教) B(文) A(理)	A		次年度も適宜対応する(教務主事)。 継続(文) 連絡を密にして対応する。(理)
135	Ⅰ	1	(4)	⑪	4年生工場見学旅行及び低学年工場見学の実施										○	○	○	○	○					4年生の工場見学は、9/24～9/28に実施予定、1～3年生についても随時実施予定である。(機械) 4年生の工場見学を実施し、3年生、2年生も実施した。(電気電子) 実施した。(制御) 4年工場見学旅行では先輩社員との懇談を企画している。また、各学年1回以上近隣企業の工場見学を実施している。(生化) 4年工場見学旅行の実施と1M材料システム工学入門において、アーレスティ熊本、熊本大学の見学を行った。(材料シ)	A(機) A(電) A(制) A(生) A(材)	A	A	今年度と同様に実施予定。(機械) 2年、3年、4年を継続実施(電気電子) 次年度も実施する。(制御) 同様に行う(生化) 来年度も引き続き実施する。(材料シ)
136	Ⅰ	1	(4)	⑪	企業訪問、工場見学などの実施状況把握	○									△	△	△	△	△			○		学生課で把握している。(教務主事) 全員実施状況を把握している。(機械) 2E、3Eそれぞれ1回学科行事として実施した。4Eは工場見学旅行として学校行事で実施。(電気電子) 実施した。(制御) 4C安全工学の授業の一貫として、JNC水俣工場危険体感センターの研修に参加予定である。また、他の工場見学旅行についても申請段階でチェックしている。企業訪問の実施状況については就職担当教員が主に把握している。(生化) 就職担当、学科長は常に実施状況を把握している。(材料シ)	A(教) A(機) A(電) A(生) A(材)	A		次年度も同様実施する(教務主事)。 今年度と同様に実施予定。(機械) 2年、3年、4年を継続実施(電気電子) 同様に行う(生化) 来年度も引き続き実施する。(材料シ)
			(5)学生支援・生活支援																										
137	Ⅰ	1	(5)	①	学習を進める上でのガイダンスの実施	○									○	○	○	○	○					新入生合宿研修における時間を割愛されたため、機会がなかった。学科で対応しているはず。(教務主事) 本科1年生には、入学式の日に行われる学科紹介の際に、必要な自宅学習の時間など具体的なことを伝えている。また専攻科1年生にも、入学後の説明会で、専攻科での学習のあり方について伝えている。(機械) 本科1年生には入学式ガイダンス、また、1年生2年生には12月の後期中間試験成績通知に保護者あてに学習や後期松試験のついての準備など印刷物を学科から同封した。(電気電子) 実施している。(制御) 1年生を対象として、カリキュラムの説明を行った。また、3年生を対象として、4年からのコース選択の説明会を実施した。JABEEコースの学生対象に、JABEE目標に対する達成度が自動で表示される自己評価書を年度ごとに記入させている。(生化) 初回授業では、シラバスを用いてガイダンスを行っている。(材料シ)	A(機) A(電) A(制) A(生) A(材)	A	A	次年度も同様実施する(教務主事)。 今年度と同様に実施予定。(機械) 成績通知と一緒に保護者宛ての連絡送付を継続(電気電子) 次年度も実施する。(制御) 同様に行う(生化) 来年度も引き続き実施する。(材料シ)

138	Ⅰ	1	(5)	①	学生の勉学のモチベーションを維持・高揚させるためのキャリアデザイン教育の充実									○	△	△	△	△	△	△	△			今年度は放課後において本校OB社員が来校してのOBキャリア後援会を多く実施（特に12月～1月）し、先輩社員から「働くと言う事について」「その業界で働くこと」についてに講演頂き、キャリアデザイン教育に資した。（キャリア支援室） 随時行っている。（機械） 学科主催のキャリアアップセミナーを開催した。（電気電子） 把握していない。（制御） 2～4年生を対象に、企業で働く先輩社員を招き座談会を行っている。（生化） 機会を見つけてOBによる講演会を開催し、本学科卒業生のキャリアを紹介した。（材料シ） 特には行っていない。（文）	C（キ） A（機） A（電） A（生） A（材） C（文）	A		低学年に対する担任も巻き込んだ定期的な全学的な対応を目指したが、学科個々の対応だけに終わったことは次年度に向けての要検討事項であり、次期キャリア支援室での最重点検討事項と考えている。（キャリア支援室） 今年度と同様に実施予定。（機械） キャリアアップセミナーの継続実施（電気電子） 同様に行う（生化） 来年度も引き続き実施する。（材料シ） 特に計画していない。（文）
139	Ⅰ	1	(5)	①	カウンセラーによる学生相談の実施									○										3名のカウンセラーが週1回ずつ来校し、カウンセリングを実施している。（相談）	A（相）	A		継続（相談）
140	外	1	(5)	①	カウンセリングの実施状況の把握および分析		△							○										学生相談室では、前期は週1回、後期は月に3回程度のペースでカウンセラーを含めたミーティングを開き、カウンセリング状況の把握と分析を行っている。（相談）	A（相）	A		継続（相談）
141	外	1	(5)	①	人権意識の確立やDV防止教育の実施		○							○										担任会議においていじめ等の情報収集に努めている。また、6月に「いじめ防止講演会」（1年生対象）を開催した。（学生主事） いじめやハラスメントに関して、学生だけでなく担任からの相談にも応じている。（相談）	A（学） B（相）	A		今年度同様に実施を検討する。（学生主事） 学生相談室は相談を受ける方が主なので、△に変更希望（相談）
142	Ⅰ	1	(5)	①	発達障害等の問題を抱える学生を支援するための教職員協力実施									○										発達障害等の問題を抱える学生に関しては、特別教育支援委員会と連携して対応してる。新入生については、担任および学科の学生相談室運営委員と協力して対象者の入学時面談を実施した。 また、カウンセラーと協力して、科目担当教員等に学生の特性等を連絡するための書式を作成した。（相談）	A（相）	A		146の内容に含まれる（149とも重複する部分がある）ので統合希望（相談）
143	外	1	(5)	①	特別支援教育の視点を反映した教育の実施（H28外部評価委員会）	○	○								△	△	△	△	△	△	△			平成29年度から特別支援教育委員会を立ち上げ運営している。（教務主事） 特別支援教育委員会を通じて実施している。（機械） 特別支援委員会とともの支援に当たった。（電気電子） 関連委員会において検討をし、実施している。（制御） 特別支援教育委員会を通じて実施している。（生化） 学科運営会議において、特別支援について情報共有を行っている。（材料シ） 特別支援を要する学生に配慮しながら教育を行っている。（文）	A（教） A（機） A（電） A（生） A（材） A（文）	A		次年度も同様実施する（教務主事）。 今年度と同様に実施予定。（機械） 次年度も継続（電気電子） 同様に行う（生化） 来年度も引き続き実施する。（材料シ） 継続（文）
144	外	1	(5)	①	特別支援教育に関する教職員研修の実施検討（H29外部評価委員会）	○								○										1月9日に郷間先生による講演を実施した（教務主事）。	A（教）	A		次年度については主事室で検討する（教務主事）。 学生相談室は147の研修を担当しており、特別支援教育は教務主事室の担当なので△に変更希望（相談）
145	Ⅰ	1	(5)	①	教育・心理アンケート等に基づく指導・支援の実施	○								○										主事と学生相談室長の連絡会を整備中（教務主事）。 学生相談室がメンタル系のアンケートを実施し、心と体のケアに役立てている。（教務主事） 学生が学校・クラスに適応できているかを把握するため、本科1～3年は6月、4～5年は7月にHyper-QUを実施した。さらに、カウンセラーによる担任対象のHyper-QU活用講習会を8月（1～3年生）と10月（4～5）に開催した。専攻科では12月に学校適応感尺度調査を実施した。本科、専攻科共、アンケートで支援が必要と判定された学生には担任による面談を実施した。面談報告によって必要とされる学生にはカウンセリングを実施している。（相談）	A（教） A（相）	A		次年度も同様実施する（教務主事）。 継続するが、173と重複しているので統合希望（相談）
146	Ⅰ	1	(5)	①	学生相談案件の対応における学科・主事室等との連携促進	△	△	△	△					○	△	△	△	△	△	△	△		○	寮生のカウンセリングを踏まえて、カウンセラーと意見交換をした。（寮務主事） 専攻科主事室会議で案件が出た場合は共有化するようにしているが、本年度は学生相談の案件はなし。（専攻科主事） 学科との連携に関しては、学生相談室運営委員を通じて情報共有する体制を作っている。主事等とは必要に応じて連携している。（相談） 必要に応じて対応している。（機械） 個別案件ごとにその都度対応。（電気電子） 該当なし。（制御） 必要に応じて対応している。（生化） 緊密に連携を取り対応している（材料シ） 連携している。（文）	A（教） B（専） B（寮） A（相） A（機） B（電） A（生） A（材） A（文）	A		次年度より運用する（教務主事）。 継続して検討していく（専攻科主事） 次年度も継続して実施する．（寮務主事） 継続（相談） 今年度と同様に実施予定。（機械） 案件ごとに対応を継続（電気電子） 同様に行う（生化） 来年度も引き続き実施する。（材料シ）
147	Ⅰ	1	(5)	①	学生のメンタルヘルスについての教職員対象講習会実施									○										学生アンケートの活用講習会を担任対象に実施している。平成30年度は、12月に教育改善会議で「学生の事件・事故の予防と対応」と題した講演（学生主事室主催）が実施され、1月には特別支援教育に関する特別講演会（教務主事室主催）も実施された。（相談）	A（相）	A		継続（相談）
148	Ⅰ	1	(5)	①	学生のメンタルヘルスやSOS発信に関する教育の実施									○									○	新入生オリエンテーションにおいて、SOSを発信すること、相談することを促した。学生相談室の利用を促す活動としては、案内カードの配布や入学説明会での紹介、後援会総会での案内を実施している。（相談）	B（相）	A		継続（相談）
149	Ⅰ	1	(5)	①	特別支援教育における学習支援の実施体制整備	○								○										支援が必要な学生に対し夏季休業中に補講を実施した。（教務主事） 特別支援チームにおいて、個々の学生に応じた支援方法を検討し、実施している。（相談）	A（教） C（相）	A		必要な学生がいれば適宜実施する（教務主事）。 継続するが、特別支援教育は教務主事室の担当なので△に変更希望。実施主体の明確化と必要に応じた財源がなければ進展しない。（相談）
150	Ⅰ	1	(5)	①	学生支援アドバイザー（再雇用教員）による支援の促進	○																		次年度予算化を検討する。（教務主事）	A（教）	A		主事室で検討する（教務主事）。
151	Ⅰ	1	(5)	①	学生向け各種講習会(ビジネスマナー,携帯電話利用,暴力団排除等)の実施 （学生主事室とキャリア支援室の連携方法検討含む）		○								○									学生向け講習会として、インターンシップ参加学生を対象とした「ビジネスマナー講習会」を8月10日に、携帯電話によるトラブル防止のために「ケータイ安全教室」を4月18日（1年生対象）に、「交通安全講習会」（1年生対象）を4月27日に、「いじめ防止講習会」（1年生対象）を6月20日に実施した。（学生主事） インターンシップ前にビジネスマナー講座を実施した。スタートアップとして就職希望の4年生に外部講師を招いてキャリア講習会を開催予定→各種行事との調整で実施できず（キャリア支援室）	A（学） B（キ）	A		今年度同様に実施を検討する。（学生主事） 学生主事室とキャリア支援室室との連携の元実施してきた学生向け講習会であるインターンシップ参加学生を対象とした「ビジネスマナー講習会は学内の定例行事として定着を計ることができた。（キャリア支援室）
152	Ⅰ	1	(5)	①	入学料・授業料免除の情報提供と実施		○																	ホームルームや掲示により情報提供を行い、適格者には免除を行っている。（学生主事）	A（学）	A		今年度同様に実施する。（学生主事）
153	Ⅰ	1	(5)	②	学生寄宿舎環境改善のための施設・設備の整備計画策定・予算要求			○																食堂と女子寮との間の渡り廊下が滑りやすいとの指摘により、滑り止めの工事を実施した。また、宿直室の改装と家具の更新を実施した。（寮務主事）	B（寮）	B	B	次年度も継続して実施する．（寮務主事）
154	Ⅰ	1	(5)	③	奨学生募集説明会の開催		○																	日本学生支援機構奨学生の募集説明会を4月12日に実施した。（学生主事）	A（学）	A	A	今年度同様に実施する。（学生主事）
155	Ⅰ	1	(5)	③	各種奨学金に関する情報の集約及び情報提供		○																	情報の集約は学生生活支援係で行い、ここから掲示による通知、または担任会議を通してホームルームでの情報の提供を行っている。（学生主事）	A（学）	A		今年度同様に実施する。（学生主事）
156	Ⅰ	1	(5)	④	就職・進学等の進路指導の実施									○	○	○	○	○	○					就職は各専門学科就職主任、進学は5年担任を中心に丁寧且つ真摯に行い、キャリア支援室でその情報交換や連携を行った（キャリア支援室） 就職は、学科の就職担当教員を中心として、適宜卒業研究指導教員などが加わり、個々の学生に対して指導している。また進学については、5年担任教員を中心に指導している。また随時、卒業生による実体験にもとづく講演会を3年生以上を対象に行っている。（機械） 学科主催のキャリアアップセミナ、4年生への進路調査、低学年でも進路に関する注意喚起をキャリアアップセミナーのアンケートなどで実施。H31年度から3Eの「電気電子演習3」の一部にキャリア教育の導入を準備中。（電気電子） 就職担当による指導を行っている。（制御） 就職支援は就職主任が実施し、進学は、5年担任が実施している。また、企業のOBを迎えてキャリアセミナー、進路指導は、大学の学校説明会を開催している。（生化） 就職担当、各研究室教員において就職・進学の指導を行っている。（材料シ）	A（キ） A（機） B（電） A（制） A（生） A（材）	A	A	就職に関しては各学科就職主任キャリア支援室長）、進学に関しては各学科5年を中心として、各専門学科により真摯な対応ができている。課題としては企業サイドの求人熱の過熱化であり、企業面談の対応がオーバーワーク化している。時間的リソースには限りがあり、キャリア支援と教育研究活動（学生指導を含む）のバランスのとれた両立を如何に実現していくかが課題である。（キャリア支援室） 今年度と同様に実施予定。（機械） 平成31年度新カリキュラムで実施（電気電子） 次年度も今まで通り実施する。（制御） 同様に行う（生化） 来年度も引き続き実施する。（材料シ）

157	Ⅰ	1	(5)	④	就職・進学状況の把握	○								○	○	○	○	○	○				昨年度よりキャリア支援室を立ち上げ、ここが学生課を通して把握している。(教務主事) 就職は各専門学科就職主任、進学は5年担任を中心に丁寧且つ真摯に行い、キャリア支援室でその情報交換や連携を行った(キャリア支援室) 卒業生、修了生名簿により把握。(電気電子) 就職や進学状況について学科会議での報告、情報共有を行っている。(制御) 就職・進学の合格は学科会議で報告され、全教員が把握している。(生化) 就職担当、5年担任が中心となって状況の把握を行っている。(材料シ)	A(教) A(キ) A(機) A(電) A(制) A(生) A(材)	A		次年度も同様実施する(教務主事)。 今年度と同様、詳細な状況の収拾を図り、進路指導に反映させていく必要がある。(キャリア支援室) 今年度と同様に実施予定。(機械) 同様に継続実施(電気電子) 学科会議での報告、情報共有も今まで通り実施する。(制御) 同様に行う(生化) 来年度も引き続き実施する。(材料シ)
158	外	1	(5)	④	業種別に加えた地域別就職先の分類調査方法の検討(H29外部評価委員会)									○									年度毎及び学科毎に地域別就職先の分析を実施し外部評価委員会で提示し、それに関しての地域行政機関からの質疑応答にも対応し、意見交換ができた(キャリア支援室)	A(キ)	A		年度毎及び学科毎に地域別就職先の分析を実施した。次年度もこの分析を継続し情報蓄積収集に努めたい。(キャリア支援室)
159	Ⅰ	1	(5)	④	進路選択支援に関する他高専の取り組み事例調査	○								○									今年度は実施予定なし。(教務主事) 様々な就職イベント等で各校の就職担当者と情報及び意見交換を行っている。(キャリア支援室)	C(教) B(キ)	A		主事室で検討する(教務主事)。 実務者レベルでの情報交換は行っているが、組織的に。取り組みの調査が必要か、その必要性も含めて要検討。(キャリア支援室)
160	Ⅰ	1	(5)	④	キャリア教育の一環としての就職活動準備セミナー等の実施									○									1月～3月に行われる業界研究イベント／奇病面談会に学生を参加させる予定であるとともに本校でテクノネット久留米及びテクノセンターと共催で地域企業説明会を実施(キャリア支援室)	A(キ)	A		経団連の就職協定が今後なくなる状況下において、就職に関する環境が次年度は大きく変わる可能性があるのでその対応の一環として要議論。(キャリア支援室)
161	Ⅰ	1	(5)	⑤	学生の自主的学習を進める上での相談・助言の体制整備	○									○	○	○	○	○	○	○		寺子屋プロジェクトを立ち上げた。(教務主事) 特にオフィスアワーを決めてはいないが適宜対応している。(機械) 1年生について、複数教員を面接担当に割り振り面接した。その他については日常の時間で各教員対応、必要に応じ対応。学生の状況は学科運営会議で担任と情報交換。(電気電子) 各先生において助言等を行っているが、体制について検討したい。(制御) オフィスアワーは設定していないが、教員が在室している限りいつでも実施している。(生化) 特にオフィスアワーを設けずに、随時対応している。(材料シ) 世界史・日本史ではレポート作成において学生からの個別の相談や助言に対応している。(文) 都合がつく限りオフィスアワーとしてしている。(理)	A(教) A(機) C(電) A(制) A(生) A(材) A(文)	A	A	主事室で検討する(教務主事)。 今年度と同様に実施予定。(機械) 対策を継続実施する(電気電子) 実施する。(制御) 同様に行う(生化) 来年度も引き続き実施する。(材料シ) 継続(文)
162	Ⅰ	1	(5)	⑤	学生の主体的学習を増やすための方策検討	○			○						○	○	○	○	○	○	○		寺子屋プロジェクトを開始した。(教務主事) 各教科において学修単位を満足するレポートが課されており、その実施において主体的学習を行っている。ただし主体的学習を行ったかのチェックは行っていない。(専攻科主事) 5年生の専門必修科目、機械要素設計実験において、個々の学生が設計したハンドルからグループ代表のハンドルを選ばせ、そのハンドルをグループのハンドルとして、製作し強度試験を行い、所定の強度にならなかった場合は、原因の究明、改善点の抽出をグループ討議により、行わせている。これらの過程で学生は、座学や演習で学んだ知識を用いて議論する。この過程を通して、学生に主体的学習を促せている。(機械) 学生の自学自習時間の充実は学科運営会議などでも岐大に挙がるが決定的な方策はまだ定まらず、随時検討実施している状態である。(電気電子) 各先生において助言等を行っているが、有効な方策について検討をしたい。(制御) 生化1年生の希望者を対象として、化学の勉強会を実施している。(生化) 実験レポートの作成にあたって、図書館の活用を促し、自主的に学習するように仕向けている。(材料シ) 世界史・日本史ではレポート作成を課題とし、主体的学習を促進している。(文)	A(教) B(専) A(機) C(電) A(制) A(生) A(材) A(文) B(理)	A		主事室で検討する(教務主事)。 専攻科科目は学生が主体的に学習する科目からなっているが、主体的学習についてのチェック方法については今後検討していく(専攻科主事) 今年度と同様に実施予定。(機械) 各種取組検討し逐次実施する(電気電子) 実施する。(制御) 同様に行う(生化) 来年度も引き続き実施する。(材料シ) 継続(文)
163	Ⅰ	1	(5)	⑤	外国留学に対する支援の実施	○														○			海外留学の場合の夏から次の夏までの2年度に渡って休学となり，規則上は卒業が2年遅れとなるが，留学前後で出席と成績を引き継ぐことで1年遅れの卒業となるようにしている．(教務主事) 国語教員が日本語の授業を担当し、支援している。(文)	A(教) A(文)	A		主事室で検討する(教務主事)。 継続(文)
164	Ⅰ	1	(5)	⑤	外国人留学生に対する学習・生活面の支援(Ⅰ3③再掲)	○		○							○	○	○	○	○				平成29年度より日本事情を日本語・日本事情に変更し本校国語教員の担当とすることにした．(教務主事) 留学生のみを対象とした日本語の授業(年間60時間)を実施したいる．また、外国人留学生委員会を定期的に開催し、情報交換をしている。(教務主事) 寮生会による寮祭を開催し、留学生と日本人寮生との親睦を深めた。女子寮では、寮母による女子留学生との交流も図られている。学習面では、額黒人留学生のために、学習用に多目的室の利用を一定期間認めた。(寮務主事) 寮生から留学生の学習を支援する学生を選出しており、担任を中心に各教員が、学習・生活の両面から支援している。(機械) 担任教員が中心として支援、状況に応じて他の学科教員が協力する体制。(電気電子) 該当なし。(制御) 外国人留学生の3年シンディ、4年ダニエル、5年アウリキについて、担任および相談員で支援している。シンディに対しては，生物応用化学基礎の科目で，低学年の復習を生化教員で連携して教授し、合わせて日本語の会話と文書作成を指導している。(生化) 該当無し(材料シ)	A(教) B(寮) A(機) A(電) A(制) A(生)	A		次年度も同様実施する(教務主事)。 次年度も継続して実施する．(寮務主事) 今年度と同様に実施予定。(機械) 毎年同様の対応を継続(電気電子) 今まで通り実施する。(制御) 同様に行う(生化)
165	Ⅰ	1	(5)	⑤	マイクロソフト包括ライセンスの利用						○												オフィス365の利用を促進する試みを行いつつあるが(Yammerの活用，Formsの活用等)，道半ばである。(総合)	B(総)	A		
166	Ⅰ	1	(5)	⑥	学校の枠を超えた学生の交流活動の実施	○	○		○			○											福岡における学校説明会で有明との学生交流が実現した。(教務主事) 九州・沖縄高専フォーラムにて各高専間の専攻科生交流会への出席の検討、福岡地区3高専専攻科学生間の交流ならびに九大総理工との合同交流会を実施予定である。本年度は実施無し。(専攻科主事) 高等教育コンソーシアム久留米の学生主体の活動として、久留米市の広報誌(広報くるめ)に「くるめ学生通信」の記事を各校で連載した(産学民)。	A(教) C(専) B(産)	A	A	主事室で検討する(教務主事)。 継続して検討していく(専攻科主事) 引き続き高等教育コンソーシアム久留米の学生主体の活動として、久留米市の広報誌(広報くるめ)に「くるめ学生通信」の記事を各校で連載する予定である(産学民)。
167	Ⅰ	1	(5)	⑥	課外活動における外部コーチの活用		○																現在文化局・体育局、あわせて34団体が活動しているが、そのうち16団体が外部コーチを導入している。(学生主事)	A(学)	A		今年度同様に実施する。(学生主事)
168	Ⅰ	1	(5)	⑥	課外活動に対する支援(卒業生修了生アンケート)		○																必要である団体にはコーチを導入し支援している。予算に関しては後援会と協力しサポートしている。設備に関しては厚生補導経費・後援会課外活動整備費により予算の許す範囲で支援している。(学生主事)	A(学)	A		今年度同様に実施する。(学生主事)
169	Ⅰ	1	(5)	⑥	校長とクラス代表(代議員)との懇談会の実施(第1回運営委員会)	○	○															○	小森のトークwith presidentが実現した。(教務主事) 小森野トーク with president と題し、クラスや学生会の代表と懇談会を実施した。(学生主事)	A(教) A(学)	A		次年度も同様実施する(教務主事)。 必要があれば今年度同様に実施する。(学生主事)
170	Ⅰ	1	(5)	⑥	2020年東京オリンピック大会ボランティアへの学生の参加に伴う対応方法検討(第6回運営委員会)	○			○													○	申込者を調査し、少人数であれば公欠対応、大人数であれば学年暦を考えることが決定された(教務主事)。 該当者なし(専攻科主事)	A(教)	A		実施する(教務主事)。
171	Ⅰ	1	(5)	⑥	学生大会等を通じた学生の要望把握		○																およそ月に一度のペースで学生会と学生主事室の合同会議を開催し、学生大会等からの学生の意見を収集している。(学生主事)	A(学)	A		今年度同様に実施する。(学生主事)
172	Ⅰ	1	(5)	⑥	学生支援に係る情報の学生への提供		○																掲示・担任会議を通してホームルームによる情報の提供を行っている。(学生主事)	A(学)	A		今年度同様に実施する。(学生主事)
173	認	1	(5)	⑥	学生対象の各種アンケート調査実施、分析及び対策検討		○	○					○										各種講習会後にアンケートを実施し、よりよい講習会が実現するように努めている。(学生主事) 新入寮の1年生に対して、寮生活に関する個人面談を寮務委員の協力のもとに実施した。必要に応じて、面談した寮生の再面談を行い、生活面の指導をした。(寮務主事) Hyper-QUと学校適応感尺度調査を実施し、必要に応じた対応を行っている。(相談)	A(学) B(寮) A(相)	A		今年度同様に実施する。(学生主事) 次年度も継続して実施する．(寮務主事) 145と重複しているので統合希望(相談)
174	Ⅰ	1	(5)	⑥	成績優秀者,課外活動等で活躍した者等の表彰		○		△						△	△	△	△	△	△	△		卓越した学生に対する授業料免除実施基準に基づき機構に推薦する予定である。また、本年度卒業生に対し、学生会・寮生会・課外活動等で輝かしい実績を残した学生に対し、卒業式において表彰する予定である。(学生主事) 前期は該当者なし。後期該当者なし。(専攻科主事) 機械学会、および設計工学会による成績優秀者の表彰を申請し、実施している。(機械) 電気学会九州支部へ本科生、専攻科生の成績優秀者表彰を毎年申請している。(電気電子) 実施している。(制御) 卒業研究および専攻科研究論文発表会で、発表賞を選出し表彰している。また成績優秀者を選考し、卒業成績最優秀者に日本化学会九州支部長賞を、2位者に化学工学会九州支部長賞をもって表彰している。(生化) 成績優秀者を金属学会・鉄鋼協会九州支部長表彰に推薦した。(材料シ) 表彰はしていない。(文)	A(学) C(専) A(機) A(電) A(生) A(材)	A		今年度同様に実施する。(学生主事) 専攻科生の場合は成績優秀者の項目に該当しない(2年間の在籍のため)。課外活動の場合、学会の表彰となるため、大学院生との競争となり、かなりハードルが高くなってしまうため専攻科生枠を作っていただかないと該当しないと考えられる。(専攻科主事) 今年度と同様に実施予定。(機械) 学会などへの参加推進を継続(電気電子) 同様に行う(生化) 来年度も引き続き実施する。(材料シ)

175	Ⅰ	1	(5)	⑦	寮生数増加のための取り組み推進			○																	居室、共通施設・設備の計画的な整備・改修による住環境の改善、給食業者との食堂懇談会による食事の改善および体験入寮を実施した。学校見学会において、寮生会が中学生および保護者を学生寮に案内し見学してもらうことでPRを図った。(寮務主事)	B(寮)	B	B	次年度も継続して実施する.(寮務主事)
176	Ⅰ	1	(5)	⑦	6S(整理・整頓・清掃・清潔・躾・作法)推進活動の実施			○																	ゴミ分別回収、不要物品リサイクル、寮内外の清掃および閉寮前の大掃除を計画的に実施した。閉寮時には、居室の清掃状況を点検し、不十分な場合に清掃指導をした。また、不定期に居室施錠状況を確認し、施錠が徹底していない寮生を指導した。さらに、テーブルマナー講習会やヘルスチェックキャンペーンを実施し、寮生の資質向上を図った。(寮務主事)	B(寮)	B		次年度も継続して実施する.(寮務主事)
177	Ⅰ	1	(5)	⑦	寮生による寮行事の実施			○																	寮生会役員を中心に、寮祭、TA、ゴミ分別回収、外部寮視察、避難訓練、食堂懇談会等を実施させることで、寮生会の自主自律を求めている。(寮務主事)	B(寮)	B		次年度も継続して実施する.(寮務主事)
178	Ⅰ	1	(5)	⑧	学生便覧の発行																		○		計画どおり平成30年度版を作成し、学生及び教職員へ配付した(学生課)	A(学)	A	A	次年度も引き続き発行する。(学生課)
179	Ⅰ	1	(5)	⑧	高専通信の発行					○															計画通り第87号を7月に発行した. また, 第88号は3月の発行に向けて調整中である.(企画主事)	A(企)	A		次年度も年2回発行し、掲載内容のより一層の充実を図る。(企画主事)
180	Ⅰ	1	(5)	⑧	図書館だよりの発行						○														図書館だより第92号、第93号を発行した。(図)	A(図)	A		図書館だよりは、次年度から年1回、ウェブページでの発行予定である。(図)
181	Ⅰ	1	(5)	⑧	成績通知及び担任所見による保護者との連携	○																			年4回の試験に合わせて, 前期中間(7月), 前期期末(10月末), 後期中間(12月末), 年度総合(3月)に成績表を保護者に送付している.(教務主事)	A(教)	A		次年度も同様実施する(教務主事)。
182	Ⅰ	1	(5)	⑧	保護者懇談会の実施	○																			5月12日の後援会総会の午後クラス懇談会を行った. また、高専祭期間中にも担任レベルで実施している。(教務主事)	A(教)	A		次年度も同様実施する(教務主事)。
			(6)教育環境の整備・活用																												
183	Ⅰ	1	(6)	①	緊急度に応じた施設等の整備推進	○																	○		施設係で整備必要事項を表にまとめており、予算・必要性に応じて取り組む体制を確立した。(教務主事) 緊急度に応じた施設整備計画を更新し、第一体育館南階段設置等の工事を実施した。(総務課) 自然災害等(西日本豪雨を含む)による被害応急対策を実施した。(総務課) 防犯カメラを設置し、安全対策を図った。(総務課) 校長室及び校長室以外の施設への危機管理対策本部の設置に関する要項を制定し、機材棟4階のライトメタル研究室に対策本部の機能を有するよう整備した。(総務課)	A(教) A(総)	A	A	次年度も同様実施する(教務主事)。 校長室及び校長室以外の対策本部に指定した機材棟4階のライトメタル研究室の機能充実を図る。(総務課)
184	Ⅰ	1	(6)	①	実験室・設備等の清掃・安全巡視の実施																		○		安全衛生委員会において、毎月巡視を行っており、改善点ついて当該委員会及び施設責任者へ報告している。(総務課)	A(総)	A		次年度も引き続き実施する。(総務課)
185	認	1	(6)	①	△教室等(自学自習スペース含む)の利用率調査の実施																		○		保有する施設の稼働率調査を3月に実施し、その結果を施設・環境委員会に報告すると共に施設の将来計画へ反映させる。(総務課)	A(総)	A		引き続き、保有する施設の稼働率を年1回調査し、その結果を施設・環境委員会に報告すると共に施設の将来計画へ反映させる。(総務課)
186	Ⅰ	1	(6)	①	教育環境の確保、安全で快適な教育環境を意識した取組の推進	○		○					○	○	○	○	○	○	○						一般棟の老朽化が激しいので、改修のために予算要求している。(教務主事) 閉寮中に、衛生上必要な居室の消毒を実施した。また、学年ごとに多目的室を試験2週間前より割り当て、利用できる自習室を増やした。また、学内LANへの接続環境を改善するために、一部ネットワーク機器を更新した。(寮務主事) 様々な個所へ要望書を提出し、予算が付き次第、改修工事・新規導入を行い、教育環境を確保し、安全で快適な教育環境を構築した。(機械) 危険個所等はその都度施設係へ連絡するなど対応を継続している。また長期的展望に基づく機器などにつては施設、更新の要求を継続している。(電気電子) 実施している。(制御) 生化実験室の狭隘解消のため, CJ教室を前計算機センターに移設改修し, 学生実験全般に使用している。(生化) ものづくり第三期として予算申請を行う。(材料シ) 体育の授業では特に安全を意識している。(文) 物理化学実験を2名が担当している。(理)	A(教) B(寮) A(機) A(電) A(制) A(生) A(材) A(文) A(理)	A		次年度も同様実施する(教務主事)。 次年度も継続して実施する。(寮務主事) 今年度と同様に実施予定。(機械) 同様の対応を継続(電気電子) 実施する。(制御) 予算獲得を目指す(生化) 来年度も引き続き実施する。(材料シ) 継続(文) 物理化学実験を教員2名が担当する。(理)
187	Ⅰ	1	(6)	①	教室・図書館等学習環境の整備・充実	○																	○		予算の範囲内で効果的な対策を検討。(教務主事) 教室・図書館等の不備を発見した時は施設係に連絡が入り、即時に対応する体制をとっている。今年度は教室黒板及びロッカーの更新を行った。(総務課) D3教室床の補修を行い学習環境の整備・充実を図った。(総務課)	A(教) A(総)	A		次年度も同様実施する(教務主事)。 引き続き、保有する施設の稼働率を年1回調査し、その結果を施設・環境委員会に報告すると共に施設の将来計画へ反映させる。(総務課)
188	Ⅰ	1	(6)	①	キャンパス内の外灯の点検	○																	○		予算の範囲内で効果的な対策を検討。(教務主事) キャンパス内を定期的に巡回し、外灯の点検を行った結果、老朽化・不良箇所の10箇所の外灯を更新(新設含む)した。(総務課)	A(教) A(総)	A		次年度も同様実施する(教務主事)。 夜間にキャンパス内を巡回し、外灯の点検を行う。(総務課)
189	Ⅰ	1	(6)	①	西鉄宮の陣駅から本校までの通学路への街灯設置状況の確認		○																	○	大部分の街灯の電柱設置工事は完了したが、一部未完了である。遅くても次年度5月までには完了する予定である。(学生主事)	A(学)	A		5月には街頭の設置が完了する予定である。(学生主事)
190	Ⅰ	1	(6)	①	一般文科理科棟改修案検討	○													○	○	△				一般棟の老朽化が激しいので、改修のために予算要求が採択された。(教務主事) 平成30年6月に平成31年度概算要求を申請し、平成30年12月21日に機構から採択の内示を受けた。これに伴い、文科・理科棟改修に伴う移転及び改修後の設備・備品に係る整備を審議・処理するため、文科・理科棟改修専門部会を設置した。(総務課) 既に検討している。(文)	A(教) A(文) B(理) A(総)	A		改修する(教務主事)。 継続(文) 改修に向けた仕様等を検討する。(理) 設計コンサルタントの提案を基に文科・理科棟改修専門部会で検討する。(総務課)
191	Ⅰ	1	(6)	①	アクティブラーニング等の学習環境充実を図る施設整備の検討	○																	○		平成29年度概算要求に申請した一般文科理科棟の改修プランに, アクティブラーニング実施に配慮した計画を取り入れた.(教務主事) 概算求事業等に関する意見交換会で機構本部と協議し、アクティブラーニング等の学習環境充実を図る計画書を作成した。(総務課)	A(教) A(総)	A		改修する(教務主事)。 設計コンサルタントと協議し、アクティブラーニング等の学習環境充実を図る仕様を検討する。(総務課)
192	Ⅰ	1	(6)	①	施設・設備に関するアドバイザーによるキャンパス診断の継続実施	○																	○		久留米工業大学工学部建築・設備工学科教員に施設・設備アドバイザーを委嘱した。(教務主事) 筑後川築堤に伴う再配置計画及び機材棟中庭の有効利用について諮問した。(総務課)	A(教) A(総)	A		次年度も同様実施する(教務主事)。 引き続き久留米工業大学工学部建築・設備工学科教員に施設・設備アドバイザーを委嘱する。(総務課)
193	Ⅰ	1	(6)	①	キャンパスマスタープラン策定委員会の立上げ検討	○																	○		キャンパスマスタープラン策定委員会設立の検討を行っている。(教務主事)	A(教) D(総)	B		次年度も同様実施する(教務主事)。 キャンパスマスタープラン策定委員会設立を目指す。(総務課)
194	Ⅰ	1	(6)	①	筑後川築堤工事に伴う再配置検討	○	△			△											△	△			4月20日に開催した第5回作業部会で最終再配置計画案を取りまとめ、5月7付けで校長に報告書を提出し、仕様策定に移行した。(教務主事) 企画主事は担当から外れた。(企画主事) 施設・環境委員会の下、筑後川堤防工事に係る再配置仕様等検討作業部会を設置し、具体的仕様について検討した。(総務課)	A(教) A(総)	A		改修する(教務主事)。 引き続き作業部会で残予算の執行について検討する。(総務課)
195	Ⅰ	1	(6)	①	設備整備マスタープランの継続的見直し	○	△																○		見直しを実施する。(教務主事) 4月に設備整備を含む予算化希望調査を実施した。(総務課) 随時、施設・環境委員会を開催し、次年度以降の設備整備計画を検討した。(総務課) 各学科あてに設備整備希望調査(2月)を実施し、設備整備マスタープランを検討した。(総務課)	A(教) A(総)	A		次年度も同様実施する(教務主事)。 設備整備を含む予算化希望調査を継続して実施する。(総務課)
196	Ⅰ	1	(6)	①	設備整備マスタープランの評価方法見直し	○																	○		適時見直す。(教務主事) 平成30年度に評価方法を見直しの検討を行った。(総務課)	A(教) B(総)	A		次年度も同様実施する(教務主事)。 導入希望設備記入票の変更に伴い評価方法の見直しを行う。(総務課)
197	Ⅰ	1	(6)	①	老朽化施設・設備の整備に関する営繕要求の見直し及び予算要求	○																			校長のイニシアチブの下に行っている。(教務主事)	A(教)	A		次年度も同様実施する(教務主事)。
198	Ⅰ	1	(6)	①	植栽の整理による学生アメニティスペースの実現検討	○																	○		平成30年度校内環境整備計画を立て、植栽の整理及び除草作業を行った。(教務主事)(総務課) 筑後川堤防工事に伴う駐車場確保のため、植栽の整理を行った。(総務課)	A(教) A(総)	A		次年度も同様実施する(教務主事)。 筑後川堤防工事に係る再配置(二期)の中で検討する。(総務課)
199	Ⅰ	1	(6)	①	学生や来訪者の利用に資するユニバーサルデザインの導入検討																		○		概算要求及び営繕要求を検討する際に、ユニバーサルデザインを導入し、多くの学生や来訪者が使いやすい施設設計を検討する。(総務課)	D(総)	C		関係者との意見交換を密に行う。(総務課)

200	Ⅰ	1	(6)	①	省エネ対応機器の導入検討																		○		省エネ対応機器（空調設備、LED照明10カ所等）を導入した。（総務課）	A（総）	A		「持続的な学修環境への改善」に関する要求書を提出する等、引続き省エネ対応機器の導入を推進する。（総務課）
201	Ⅰ	1	(6)	①	無線LANの導入及びネットワークの高速化対応検討							○													高専統一ネットワークへの移行後、無線LANは、一部体育館等で不安定な状況は見られたが、ほぼ安定して動作している。IT活用のための、わかりやすい学生向けガイドを準備する必要があるが、まだ着手できていない。（総合）	B（総）	B		
202	Ⅰ	1	(6)	①	薬品・危険物等の購入・保管・廃棄管理体制整備											△	△	△	△	△	△	△	○		規則に従い、管理を行っている。（機械） 変圧器など施設係と連携し対応済み。（電気電子） 該当なし。（制御） 薬品保管庫の不足分を購入予定であるが、本年度は予算の目処は立たなかった。一部薬品の保管状況が十分に把握されていなかったため点検を行った。毒劇物については、適切に管理されている。（生化） 規則に従い、管理を行っている。（材料シ） 特になし。（文） 久留米工業高等専門学校毒物、劇物及び危険物取扱規定に基づき、薬品・危険物等の管理状況を確認している。（総務課） 12月6日に本校総務課倉庫内で無許可の核燃料物質が発見されたため、適切な対応を行うとともに、計量管理規程の検討を行った。（総務課）	A（機） A（電） C（生） A（材） A（文） A（総）	B		今年度と同様に実施予定。（機械） 事案発生の都度対応継続（電気電子） 適正管理を目指す（生化） 来年度も引き続き実施する。（材料シ） 特にない。（文） 久留米工業高等専門学校毒物、劇物及び危険物取扱規定に基づき、薬品・危険物等の購入・保管・廃棄を適正に管理する。（総務課） 計量管理規程の制定を審議する。（総務課）
203	Ⅰ	1	(6)	①	PCB廃棄物の所在確認および保管・処分対応																		○		年度毎の処分計画を立て、処分を行う予定であり、保管は、専用の保管庫で管理している。（総務課） 電気電子工学科で使用中の実験機器以外はPCB廃棄物の処理が完了した。（総務課）	A（総）	A		2019年度基盤的設備の整備について採択の内示を受けているので、年度内に調達する。（総務課）
204	Ⅰ	1	(6)	①	専攻科棟学習環境の整備				○																A1およびA2教室黒板の上下左右4面のホワイトボード化を実施した。学生控え室に学生用ロッカーを追加整備した。（専攻科主事）	A（専）	A		更なる実施項目について検討していく（専攻科主事）
205	Ⅰ	1	(6)	②	「実験実習安全必携」の新任教員及び新任技術職員への配布	○																			4月1日に行った新任教員研修で全員に配付した.（教務主事）	A（教）	A	A	次年度も同様実施する（教務主事）。
206	Ⅰ	1	(6)	②	「安全の心得」の活用	○																			機械加工実習（機械3クラス，電気電子1クラス，材料工学1クラス）の最初の授業で行う安全教育の際の資料の参考にしている.（教務主事）	A（教）	A		次年度も同様実施する（教務主事）。
207	Ⅰ	1	(6)	②	ヒヤリハット報告の周知方法検討	○																			ヒヤリハット事例が発生した場合の報告の周知及び学生に対しても周知を行った.（教務主事）	A（教）	A		次年度も同様実施する（教務主事）。
208	Ⅰ	1	(6)	②	実験・実習における安全の点検及び安全講習の実施(第1回運営委員会)	○			○							△	△	△	△	△	△	△	○		実験の1回目に安全講習を実施。（教務主事） 専攻科研究基礎や専攻科研究論文、創造工学実験は指導教員や科目担当の下で実施のため専攻科では未実施。（専攻科主事） 実施している。（機械） 実施している。（電気電子） 実施している。（制御） 実施している。（生化） 実験初回の時に安全講習を行っている。（材料シ） 体育の授業では特に安全に配慮している。（文）	A（教） C（専） A（機） A（電） A（生） A（材） A（文）	A		次年度も同様実施する（教務主事）。 継続して検討していく（専攻科主事） 今年度と同様に実施予定。（機械） 実施継続（電気電子） 同様に行う（生化） 来年度も引き続き実施する。（材料シ） 継続（文）
209	Ⅰ	1	(6)	②	教育研究支援センター運営委員会における実験実習時の安全再確認	○																			毎週の打ち合わせの時に安全について話をしている。（教務主事）	A（教）	A		次年度も同様実施する（教務主事）。
210	Ⅰ	1	(6)	②	安全衛生管理に関する外部講習会への教職員派遣	○																	○		当該講習会の開催があれば参加する。（教務主事） 11月19日に開催される九州地区国立大学法人安全衛生連絡会（琉球大学当番）に参加した。（総務課）	A（教） A（総）	A		次年度も同様実施する（教務主事）。 次年度も参加する。（総務課）
211	Ⅰ	1	(6)	③	女子学生のための教育環境の整備等の実施（I1(1)⑤再掲）	○																	○		I1(1)⑤参照。（教務主事）（総務課）	A（教） A（総）	A	A	次年度も同様実施する（教務主事）。
212	Ⅰ	1	(6)	③	女性教職員の職場環境の整備等の実施	○																	○		男女共同参画推進室で検討し管理棟2階に女性教員談話室を設け、活用されている.（教務主事）	A（教）	A		次年度も同様実施する（教務主事）。
213	Ⅰ	1	(6)	③	女性教職員および女子学生からの要望事項に対する対応検討(第6回運営委員会)	○	○	○		○				○	○								△	△	厚生補導委員会にて要望の検討を行った。（学生主事） 食堂と女子寮との間の渡り廊下が滑りやすいとの指摘により、滑り止めの工事を実施した。（寮務主事） 女性教職員および女子学生に対するヒアリングを行うことにより要改善事項を整理し、各担当委員会に報告した。（企画主事） 女子学生の就職希望に関しては、企業サイドからの求人熱が高く、企業サイドからその情報を収集するとともにそれらの情報も女子学生に積極的に伝えている。（キャリア支援室）	A（学） B（寮） A（企） A（キ）	A		引き続き要望事項に対する検討を行う。（学生主事） 次年度も継続して実施する.（寮務主事） 次年度もヒアリングを実施し、改善を図る。（企画主事） 女子学生個々の学生の就職等に関する希望については各就職主任が個々には真摯に対応しているが、学校全体としての統計やとりまとめの要あり（キャリア支援室）
214	Ⅰ	1	(6)	③	男女共同参画取り組みの推進					○													○		女性教職員および女子学生を対象に要改善事項についてヒアリングおよび現場視察を実施した。その中で、女子寮と食堂間の通路に係る滑り止め対策を実施した。女性教職員の更衣室＆談話室の運用状況把握のためアンケート調査を実施し、設置場所の移転案を提案した。全国高専フォーラムのダイバーシティシンポジウムに参加し、他高専と情報共有を行った。女性に対する暴力根絶活動を普及啓発するために、パープルツリーを設置した。（企画主事）	A(企)	A		次年度も様々な改善を図る。（企画主事）
215	外	1	(6)	③	教職員のワーク・ライフバランスの点検及び適正化(H28外部評価委員会,第1回運営委員会)					○													○		「ゆう活」シフトを導入し、9月に全教職員を対象に実施した。（企画主事）	A(企)	A		次年度も引き続き「ゆう活」シフトを実施し、WLBの意識改革を図る。（企画主事）
216	Ⅰ	1	(6)	③	女子学生数の増加対策検討	○										○	○	○	○	○	○	○			福岡市で9/29開催の有明・久留米合同説明会へ、女子学生2名を派遣する.（教務主事） 実験室の環境整備を検討中。（機械） 1日体験入学の紹介など男女学生の協力も得て高専生活の紹介に努めている。（電気電子） 一日体験入学では女子学生にも興味を持ってまらう展示内容を検討した。（制御） 既にほぼ半数が女子学生である。（生化） 女子教員を中心に環境整備を進言している。（材料シ） 特になし。（文）	A（教） A（機） A（電） A（制） A（生） A（材） C（文） B（理）	A		次年度も同様実施する（教務主事）。 今年度と同様に実施予定。（機械） 同様の方策を継続（電気電子） 次年度のI1に体験入学において工夫をする。（制御） 同様に行う（生化） 来年度も引き続き実施する。（材料シ） 継続（文）
217	Ⅰ	1	(6)	③	女性教員の増加及び女性教員の管理職登用の検討	○										○	○	○	○	○	○	○			採用条件に同等の能力を有する場合は女性を優先と明記。（教務主事） 新規採用にあたり，応募資格に能力が同等と認められる場合は、女性を優先すると記載した。（機械） 女性教員1名在職。公募の際には、本校統一の文面を記載し周知に努めている。（電気電子） 該当なし。（制御） 女性教員1名が所属している。本年度は該当なし。（生化） 女子教員1名が所属している。（材料シ） 女性教員を採用した。（文）	A（教） A（機） A（電） A（生） A（材） A（文） B（理）	A		次年度も同様実施する（教務主事）。 今年度と同様に実施予定。（機械） 同様の方策を継続（電気電子） 検討する（生化） 来年度も引き続き実施する。（材料シ） 継続（文）
218	Ⅰ	1	(6)	③	女性教職員の勤務条件の改善検討及び校長懇談会の実施	○																	○		検討中。（教務主事）	A（教）	A		継続して検討する（教務主事）。
219	Ⅰ	1	(6)	③	女性教職員の談話室の運用					○													○		女性教職員を対象としたアンケート調査を実施し、談話室の利用状況と要改善事項を把握した。さらに、より利用し易くするために談話室の移設案を男女共同参画推進委員会で提案した。（企画主事）	A(企)	A		次年度も引き続き、検討を進める。（企画主事）
220	Ⅰ	1	(6)	③	健康診断における女性教職員への配慮方法検討(第6回運営委員会)																		○		全教職に対しアンケート調査を実施し、運営委員会へ報告した。	A（総）	A	A	委託業者と協力の上、教職員の希望に沿うような形で、予算の範囲内で実施する。（総務課）
221	Ⅰ	1	(6)	④	図書、学術雑誌、視聴覚資料等の系統的収集、整理及び有効活用						○														図書係長小川氏が、電子ジャーナル等の打ち合わせに長岡技術大学へ行ってきた（図）	A（図）	A	B	次年度も引き続き行う。（図）
222	Ⅰ	1	(6)	④	ICカードを用いた学生データ（教務・学生・寮関係）一元管理システムの導入検討	○	○	○																○	予算不足。（教務主事）	A（教）	A		継続して検討する（教務主事）。
223	Ⅰ	1	(6)	④	学生・保護者メール配信システムの導入	○	○	○																○	前年度に導入し、効果的な活用方法について模索中。（教務主事） 総合防災訓練時に配信テストを実施した。（学生主事） 緊急時の保護者へのメール配信システムの導入を検討中である。（寮務主事）	A（教） C（学） C（寮）	C		継続して検討する（教務主事）。 災害発生時など緊急時に利用したい。（学生主事） 引き続き、導入の可否を検討する。（寮務主事）
224	Ⅰ	1	(6)	④	寮生外泊・欠食管理システムの導入検討			○																○	前年度より引き続き、導入の可否を検討中である。（寮務主事）	C（寮）	C		引き続き、導入の可否を検討する。（寮務主事）

225	Ⅰ	1		⑤	学校・学科・専攻科毎の教育目標の内容確認	○			○						○	○	○	○	○				毎年新学期開始時の学生便覧発行に併せて，各学科に確認を依頼している．（教務主事） 対応済み。（専攻科主事） 検討し、対応した。（機械） 実施している。（電気電子） 実施している。（制御） 実施している。（生化） 実施している。（材料シ）	A（教） A（専） A（機） A（電） A（制） A（生） A（材）	A	A	次年度も同様実施する（教務主事）。 対応済み（専攻科主事） 今年度と同様に実施予定。（機械） 継続実施する（電気電子） 実施する。（制御） 同様に行う（生化） 来年度も引き続き実施する。（材料シ）
226	Ⅰ	1		⑤	学校・学科・専攻科毎の教育目標の社会に対する公表	○																	2018年版の学校要覧と，本校HPに各学科の教育目標と目的を掲載している．（教務主事）	A（教）	A		次年度も同様実施する（教務主事）。
227	認	1		⑤	○学校・学科・専攻科毎（本科・専攻科・JABEE目標）の教育目標の教職員及び学生への周知方法改善（卒業生修了生アンケート）	○			○						△	△	△	△	△				現行で十分と考える。（教務主事） HP上および専攻科棟入口への掲示で対応済み。（専攻科主事） 教育目標などを記載したパネルの提示やガイダンスを行っている。（機械） 実施している。（電気電子） 実施している。（制御） 教育目標のパネルを作成し掲示し、説明を行っている。（生化） 教育目標などを記載したパネルを掲示している。（材料シ）	A（教） A（専） A（機） A（電） A（生） A（材）	A		次年度も同様実施する（教務主事）。 対応済み（専攻科主事） 今年度と同様に実施予定。（機械） 継続実施する（電気電子） 同様に行う（生化） 来年度も引き続き実施する。（材料シ）
228	認	1		⑤	○専攻科・JABEE目的目標別科目配置図整理				○						△	△	△	△	△				JABEE委員会を通じて各コースへ整理有無の検討を依頼する。（専攻科主事） 実施している。（機械） 実施している。（制御） 一部変更し、整理した。（生化） 実施済み（材料シ）	A（専） A（機） A（生） A（材）	A		依頼を継続していく（専攻科主事） 今年度と同様に実施予定。（機械） 同様に行う（生化） 来年度も引き続き実施する。（材料シ）
229	認	1		⑤	○教員シラバス活用・ｱﾄﾞﾐｯｼｮﾝﾎﾟﾘｼｰ周知度・目的目標周知度アンケート実施、分析及び対策検討	○			△														現行で十分と判断。（教務主事） 未検討。（専攻科主事）	A（教） D（専）	C		次年度も同様実施する（教務主事）。 必要性について検討していく（専攻科主事）
230	Ⅰ	1		⑥	シラバスの作成と活用	○			△						△	△	△	△	△	△	△		機構フォーマットのWebシラバスへの移行した．（教務主事） 実施済み。（専攻科主事） 実施している。（機械） 実施している。（電気電子） 実施している。（制御） 授業開始時にシラバスにより授業計画と評価方法を周知している。（生化） 全ての教科においてWEBシラバスを作成し、活用している。（材料シ） 作成し活用している。（文）	A（教） A（専） A（機） A（電） A（生） A（材） A（文）	A	A	次年度も同様実施する（教務主事）。 継続して実施していく（専攻科主事） 今年度と同様に実施予定。（機械） 作成と活用を継続（電気電子） 同様に行う（生化） 来年度も引き続き実施する。（材料シ） 継続（文）
231	JB	1		⑥	学修単位科目のシラバスへの自己学習内容記載方法検討（JABEE基準2）												○						実施している。（制御）	A（制）	A		
232	JB	1		⑥	シラバスの到達目標及び成績の評価方法・評価基準の改善検討（JABEE基準2、3）										○	○							検討し、対応した。（機械）	A（機）	A		今年度と同様に実施予定。（機械）
233	JB	1		⑥	基準1（2）の(a)～(i)を達成したことの担保方法検討（JABEE基準3）											○							修了面接で対応。（電気電子）	A（電）	A		修了面接の継続実施（電気電子）
234	JB	1		⑥	シラバスに基づく教育実施状況のエビデンス保管方法検討（JABEE基準2）										○								検討し、対応した。（機械）	A（機）	A		今年度と同様に実施予定。（機械）
235	認	1		⑥	△学修単位（専攻科含む）学習時間確認方法検討	○			○														シラバスに学修単位であることと，自学自習とレポートの提出が必要であることを明示している．教員には1単位当たり45時間分の学習が必要であること，授業時間以外の学修時間に対応する自学自習のエビデンスを保存することを，年度初めに周知している．（教務主事） 前期未検討（専攻科主事）	A（教） C（専）	C		次年度も同様実施する（教務主事）。 専攻科の場合は全科目学修単位であり、確認の必要性がない（専攻科主事）
236	Ⅰ	1		⑥	成績評価・単位認定・進級認定・卒業修了認定の学生・保護者への開示	○			○														年4回の試験ごとに成績表を保護者へ送付している．（教務主事） 例年通り継続。（専攻科主事）	A（教） A（専）	A		次年度も同様実施する（教務主事）。 継続して実施していく（専攻科主事）
237	Ⅰ	1		⑥	編・転入生が他高等教育機関で取得した単位の評価と補講の実施	○			○						○	○	○	○	○				今年度該当者なし。（教務主事） 該当なし。（専攻科主事） 留学生以外、該当なし。（機械） 該当なし。（電気電子） 該当なし。（制御） 本年度該当なし。（生化） 該当無し（材料シ）	A（教） A（機） A（電） A（生）	A		次年度も同様実施する（教務主事）。 今年度と同様に実施予定。（機械） 個々に対応を継続（電気電子） 該当があれば実施する（生化）
238	JB	1		⑥	学生自身による達成度の継続的点検方法検討（JABEE基準2）										○	○							検討し、対応した。（機械） 中間面接、修了面接を区切りに実施している。（電気電子）	A（機） A（電）	A		今年度と同様に実施予定。（機械） 中間面接と修了面接を継続（電気電子）
239	外	1		⑦	本科・専攻科進路の県内・県外割合把握、公開（H25外部評価委員会）																○		年度別進路状況表（県内・県外が把握できる資料）をホームページへアップした。（学生課）	A（学）	A	A	次年度も同様に実施する。（学生課）
	2	研究や社会連携に関する事項																									
240	Ⅰ	2		①	科研費説明会及びその他の外部予算説明会の開催					○													担当事務より適宜情報配信されている。（企画主事）	A(企)	A	A	次年度は企画主事を担当から外す。（企画主事）
241	Ⅰ	2		①	科研費採択数向上対策実施					○											○		機構からTV会議で配信される科研費申請に関わる説明会を学内に周知し、希望者が受講した。また、科研費不採択者の校長裁量経費による支援を実施した．（企画主事） 全員申請している。（機械） 校長裁量経費で採択者及び不採択者（おおよその順位がA）に支援した。（総務課）	A(企) A(総)	A		次年度も引き続き実施する。（企画主事） 次年度も校長裁量経費を財源として科研費の申請数向上を促す。（総務課）
242	外	2		①	科研費申請数向上対策実施（H29外部評価委員会）					○											○		科研費を代表者として申請しない場合の不申請理由書の提出、および昨年度代表申請者への予算配分を実施した。（企画主事） 学科研究費の配分指標に前年度科研費申請者区分を設け、申請数向上を促した。（総務課）	A(企)	A		次年度も引き続き実施する。（企画主事）
243	Ⅰ	2		①	外部資金獲得者へのインセンティブ予算配分の実施					○											○		第2回予算委員会で配分方法を検討し、第3回予算委員会で予算を確定させ、該当者に配分した。（企画主事） 校長裁量経費で外部資金獲得者へのインセンティブ予算の配分を行った。（総務課）	A(企) A(総)	A		次年度も引き続き実施する。（企画主事） 次年度も校長裁量経費を財源として予算を配分し、外部資金獲得に対する意識向上を図る。（総務課）
244	Ⅰ	2		①	研究推進WGの組織化による科学研究費採択率の向上と企業・大学等との共同研究の推進(第1回運営委員会)	Ω			Ω						△	△	△	△	△	△	△		研究推進WGを立ち上げた。（教務主事） 外部資金獲得へ向けた施策と現状の課題点の抽出を行う。WG会議を3回開催し、答申案を作成した。（専攻科主事） 学科より委員を選出し取組に継続参加中。（電気電子） 学校全体で取り組みをしている。（制御） 研究推進WGに人員を配置した。（生化） 研究推進WGのメンバーを中心に進める。（材料シ） 特になし。（文）	A（教） B（専） A（機） B（電） A（生） A（材） C（文）	A		次年度も同様実施する（教務主事）。 継続して内容を検討していく（専攻科主事） 今年度と同様に実施予定。（機械） 学科委員を選出し取組に参画を継続（電気電子） 同様に行う（生化） 来年度も引き続き実施する。（材料シ） 特に計画していない。（文）
245	Ⅰ	2		①	財団法人等の研究助成金情報のウェブによる周知																○		公募情報を電子メール等にて周知した。（総務課）、	A（総）	A		次年度も引き続き実施する。（総務課）
246	Ⅰ	2		①	全国高専フォーラムへの参加							○											校長他5名の教員が参加した。（産学民）	A（産）	A		全国高専フォーラムへ参加の予定である（産学民）。
247	Ⅰ	2		①	九州沖縄地区高専フォーラム及び高専シンポジウムの開催支援	○																	校長及び教員が企画運営に参画している。（教務主事）	A（教）	A		次年度も同様実施する（教務主事）。
248	Ⅰ	2		①	九州沖縄地区高専テクノセンター長等会議への参加							○											8月9日に開催の「平成30年度第1回第5ブロック拡大研究推進ボード会議」に中嶌産学民連携テクノセンター長が出席した。また、1月23-24日開催の「平成30年度第5ブロック研究・産学連携・地域連携合同会議及び第5回日本弁理士会九州支部との交流会」にも参加した（産学民）。	A（産）	A		引き続き「平成31年度第5ブロック拡大研究推進ボード会議」に出席の予定である（産学民）。
249	Ⅰ	2		①	高専機構　新技術説明会への参加							○											平成30年度については機構本部　研究推進室からの推薦は無く、本校教員の研究シーズについての紹介・発表を行うことは出来なかった（産学民）。	C（産）			

250	Ⅰ	2		②	共同研究・受託研究の受入れ促進								○			△	△	△	△	△	△	△			テクノネット久留米、久留米市並びに久留米リサーチ・パーク等との連携により積極的な共同研究・受託研究の受け入れを行った。現在のところ今年度のテクノネット久留米会員企業等との共同研究は5件であり、全共同研究件数は15件である（産学民）。 共同研究の受入れを複数行っている。（機械） 共同研究を実施している。（電気電子） 実施している。（制御） 共同研究・受託研究の受入れを行っている。（生化） 共同研究・受託研究の積極的な受入れを推奨している。（材料シ） 特になし。（文）	B（産） A（機） B（電） A（生） A（材） C（文）	A	A	テクノネット久留米、久留米市並びに久留米リサーチ・パーク等との連携により積極的な共同研究・受託研究の受け入れを行う（産学民）。 今年度と同様に実施予定。（機械） 受け入れ実施の継続（電気電子） 同様に行う（生化） 来年度も引き続き実施する。（材料シ） 特に計画していない。（文）
251	外	2		②	共同研究・受託研究の公開（H29外部評価委員会）								○												平成29年度の外部評価委員会において、同年度を含む過去3年間の共同研究・受託研究件数を報告した（産学民）。	A（産）	A		
252	Ⅰ	2		②	A－STEP研究成果最適展開プログラム制度利用促進								○												TV会議システム等による研修会を利用し、学内への周知と案内に努めた（産学民）。	C（産）	A		TV会議システム等による研修会を利用し、学内への周知と案内に努める（産学民）。
253	Ⅰ	2		②	産学民連携テクノセンターの施設利用による研究成果公表								○												産学民連携テクノセンター報による研究成果公表に加え、各種イベントでの公表に努めた（産学民）。	B（産）	A		産学民連携テクノセンター報による研究成果公表に加え、各種イベントでの公表に努める（産学民）。
254	Ⅰ	2		②	テクノセンターの活用による研究環境の充実								○												引き続き、産学民連携テクノセンター重点プロジェクト室への若手研究者の活用を推進すると共に、地域連携多目的室の利用により研究環境の充実を図った（産学民）。	B（産）	A		引き続き、産学民連携テクノセンター重点プロジェクト室への若手研究者の活用を推進すると共に、地域連携多目的室の利用により研究環境の充実を図る（産学民）。
255	Ⅰ	2		②	国立高専リサーチアドミニストレータ（KRA）の動向把握（機構年計追加）								○												KRAと数回にわたり、今後の研究推進に関する検討を行った（産学民）。	B（産）	A		引き続きKRAと今後の研究推進に関する検討を行う（産学民）。
256	Ⅰ	2		②	産学民連携テクノセンター報の発刊								○												8月27日に産学民連携テクノセンター報2018を刊行した（産学民）。	A（産）	A		引き続き産学民連携テクノセンター報2019を刊行する予定である（産学民）。
257	Ⅰ	2		②	JSTや経産省九州経済産業局及び地域の公設研究機関との連携推進								○												JSTジュニアドクター育成塾事業に有明高専、熊本高専と共に申請・採択され、「高専ハカセ塾」として久留米・周辺地区の小中学生育成事業1年目を実施した。また、地域の公設試験研究機関である久留米リサーチパークとの連携体制を強化し、各種イベントに積極的に参加した（産学民）。	A（産）	A		JSTジュニアドクター育成塾事業において有明高専、熊本高専と共に「高専ハカセ塾」として久留米・周辺地区の小中学生育成事業2年目を実施する。また、地域の公設試験研究機関である久留米リサーチパークとの連携体制を強化し、各種イベントに積極的に参加する（産学民）。
258	Ⅰ	2		②	産業技術総合研究所及び日本弁理士会九州支部との連携推進				○				○												専攻科インターンシップを産総研九州センターにて実施。（専攻科主事） 産業技術総合研究所九州センター及び日本弁理士会九州支部との連携を推進した。弁理士会九州支部との交流会には今年度も参加した（産学民）。	A（専） A（産）	A		継続して実施していく（専攻科主事） 産業技術総合研究所九州センター及び日本弁理士会九州支部との連携を推進する。弁理士会九州支部との交流会には参加の予定である（産学民）。
259	Ⅰ	2		②	久留米商工会議所、久留米リサーチパーク、地域銀行などのイベント参加								○												11月15日開催の「久留米・鳥栖地域産学官テクノ交流会」に産学民連携テクノセンターとしてブース展示を行い、企業からの技術相談対応を行った（産学民）。	A（産）	A		引き続き「久留米・鳥栖地域産学官テクノ交流会」に産学民連携テクノセンターとしてブース展示を行い、企業からの技術相談対応を行う予定である（産学民）。
260	Ⅰ	2		②	全国レベルの展示会への出展を通じた産学連携活動のアピール								○			△	△	△	△	△	△	△			8月30～8月31日に開催されたイノベーションジャパン2018大学見本市（東京）に参加し、生物応用化学科の松山准教授が「超臨界含浸法による高触媒活性を有するバイメタルナノ粒子の製造技術の開発超臨界流体を用いたナノ材料の微細加工技術の開発」に関するポスター発表を行った。また、産学連携に関する情報発信及び収集並びに人的ネットワークの拡充に努めた（産学民）。 JST, NEDO主催「イノベーションジャパン2018～大学見本市～」（東京）に出展した。（生化） 該当無し（材料シ） 実施していない。（文）	A（産） A（生） C（文）	A		引き続き、イノベーションジャパン2019大学見本市（東京）に参加し、産学連携に関する情報発信及び収集並びに人的ネットワークの拡充に努める予定である（産学民）。 引き続き検討（機械） 該当があれば行う（生化） 特に計画していない。（文）
261	Ⅰ	2		②	「テクノネット久留米」（技術振興会）と連携した活動の推進								○												テクノネット久留米会員企業等の業務内容・会社概要を掲載した冊子「テクノネット久留米会員紹介ブック2018」を作成・発行した。6月22日には会員企業・本校学生教職員を対象としたテクノネット久留米講演会を実施し、10月26日にテクノネット久留米定時総会及び交流会を開催し、会員企業との連携促進を図った（産学民）。	A（産）	A		テクノネット久留米会員企業等の業務内容・会社概要を掲載した冊子「テクノネット久留米会員紹介ブック2019」を引き続き作成・発行する予定である。10月にはテクノネット久留米定時総会及び交流会を開催し、会員企業との連携促進を図る予定である。さらに、第5ブロック研究推進ボード主催の「企業振興会サミット」を久留米で開催する予定である（産学民）。
262	外	2		②	「テクノネット久留米」（技術振興会）のアウトプットのあり方の検討（H29外部評価委員会）								○												平成29年度外部評価委員会において、「テクノネット久留米」（技術振興会）との連携状況を報告し、今後の展開について検討した（産学民）。	A（産）	A		
263	Ⅰ	2		②	日本歯車工業会JGMAギヤカレッジへの参画											○									9/6（木）、7（金）に日本歯車工業会JGMAギヤカレッジ歯車技術講座「基礎実習」を行った。（機械）	A（機）	A		今年度と同様に実施予定。（機械）
264	Ⅰ	2		②	ゴムの実践技術講座の実施													○							一般社団法人日本ゴム協会九州支部と締結した連携・協力協定にかかる事業の一つとして、「第6回ゴムの実践技術講座（実習）」を開催した。（生化）	A（生）	A		実施予定（生化）
265	Ⅰ	2		②	腐食防食技術研修会の実施														○						腐食防食技術研修会の講師として協力した。（材料シ）	A（材）	A		来年度も引き続き実施する。（材料シ）
266	Ⅰ	2		③	研究における技術科学大学との多様な連携の可能性検討	○			○							△	△	△	△	△	△	△			専攻科主事と中心に特に九大総合理工学府との連携を模索している。（教務主事） 専攻科研究論文を指導している教員の内、数名は両技科大からの研究助成により研究連携を進めている。（専攻科主事） 技科大との連携プロジェクトに参加している。（機械） 豊橋技科大との共同研究継続。（電気電子） 研究者レベルで検討している。（生化） 豊橋技術科学大学との共同研究実施中、三機関連携プロジェクトに参加している。（材料シ） 検討していない。（文）	A（教） B（専） A（機） B（電） A（生） A（材） C（文）	A	A	次年度も同様実施する（教務主事）。 継続して実施していく（専攻科主事） 今年度と同様に実施予定。（機械） 教員との共同研究の推進（電気電子） 検討する（生化） 来年度も引き続き実施する。（材料シ） 特に計画していない。（文）
267	Ⅰ	2		③	久留米工業大学との連携・協力覚書の効果的運用				○				○										○		平成29年6月1日付けで連携・協力に関する覚書を締結の他、平成30年度共同教育プログラムへの共同申請を行った。連携教育プログラム（名称変更）は不採択となったが、引き続き運用を検討していく。（専攻科主事） 3月7日の久留米工業大学主催第1回FD講演会に引き続き、7月4日の第2回FD講演会において、講演者として一般科目理科系松田康雄教授が発表した。また、三川校長、奥山専攻科主事、中嶌産学民連携テクノセンター長を始め数名の教職員が参加した（産学民）。	C（専） A（産）	A		継続して実施していく（専攻科主事） 久留米工業大学主催のFD講演会等に参加し、同大学との連携を深める予定である。また、連携協定に基づく研究施設の共同利用等を推進することにより、教育研究に関する連携を深める（産学民）。
268	Ⅰ	2		③	9高専連携及び3高専連携の推進	○				○				○									○	○	福岡県内3高専連携に関する教員ワーキンググループ会議を年に二回開催している。（教務主事） 第5ブロック国際交流推進WGに参画し、連携を図った。（企画主事） 就職の締では特段3高専連携は行っていないが他高専の就職担当者と就職イベント等で同席時にお互いの状況や今後の展開について意見交換を行っている（キャリア支援室）	A（教） A(企) B（キ）	A		次年度も同様実施する（教務主事）。 次年度も引き続き実施する。（企画主事） 今後も、従来と同様、機を見て情報交換交換を積極的に行っていく。（キャリア支援室）
269	Ⅰ	2		③	福岡県との連携・協力の推進(第1回運営委員会)								○	△									○		4月25日に開催された北部九州自動車産業アジア先進拠点推進フォーラム、6月29日に開催された福岡県工業技術センタークラブ先端技術シンポジウムに中嶌センター長が参加した。また、6月28日福岡県バイオ産業拠点推進会議に細野部門マネージャーが参加した（産学民）。 福岡県商工部新産業振興課　自動車産業振興室と連携し就職等に関する意見交換を行ったほか同課主催の企業見学会の担任会を通じての広報を行った（キャリア支援室） 福岡県主催の福岡県立地企業振興会や各種企業交流会に室長が参加し県関係者や企業関係者と意見交換を行った（7／13　10／24　2／22　他）（キャリア支援室）	A（産） A（キ）	A		福岡県工業技術センタークラブ先端技術シンポジウムに引き続き参加する予定である（産学民）。 現在も福岡県や福岡商工会議所主催の様々な企画に参加して、情報収集や意見交換、あるいは学生の参加を促している。今後も同様の連携を行いたい。（キャリア支援室）
270	Ⅰ	2		③	知的財産管理システムを利用した知的財産の有効かつ効率的活用の検討								○												日本弁理士会九州支部との連携を強化し、本校教員対象の知財相談会を4回開催した。また、テクノネット久留米を活用した産学連携を推進し、有効かつ効率的な知財活用のあり方を検討した（産学民）。	B（産）	B		日本弁理士会九州支部との連携を強化し、引き続き本校教員対象の知財相談会を年3～4回開催する。また、テクノネット久留米を活用した産学連携を推進し、有効かつ効率的な知財活用のあり方を検討する（産学民）。
271	Ⅰ	2		③	知財申請に関する講習会の開催								○													D（産）	D		
272	Ⅰ	2		③	知財申請に関する各種イベントへの積極的参加の促進								○												昨年度の平成30年2月2日に引き続き、今年度1月23日に開催された「九州沖縄地区高専・日本弁理士会九州支部交流会」に参加し、情報交換等を行った（産学民）。	A（産）	A		来年度も「九州沖縄地区高専・日本弁理士会九州支部交流会」に参加し、情報交換等を行う予定である（産学民）。
273	Ⅰ	2		④	紀要の発行						○														紀要の編集は、図書係にて実施している。（図）	A（図）	A	A	紀要の編集は学術情報係で行う。（図）
274	Ⅰ	2		④	教育研究活動等の状況とその成果の社会に対する公表								○			△	△	△	△	△	△	△			教育研究活動の対外的公表の機会として、地域企業との交流機関である「テクノネット久留米」の定時総会及び講演会・交流会を10月26日に開催した。また、本校の教育内容の成果公表として新聞等のメディアでの情報公開を随時行った（産学民）。 各種学会で研究発表を行っている。（機械） 関連学会での研究発表を実施している。（電気電子） 学会（日本化学会，高分子学会，生物工学会，農芸化学会，化学工学会他）へ積極的に参加している。（生化） 各種学会で研究発表を行っている。（材料シ） 研究成果は論文等で公表している。（文）	A（産） A（機） A（電） A（生） A（材） A（文）	A		教育研究活動の対外的公表の機会として、地域企業との交流機関である「テクノネット久留米」の定時総会及び講演会・交流会を10月～11月に開催する予定である。また、本校の教育内容の成果公表として新聞等のメディアでの情報公開を行う予定である（産学民）。 今年度と同様に実施予定。（機械） 発表を継続実施する。（電気電子） 同様に行う（生化） 来年度も引き続き実施する。（材料シ） 継続（文）
275	Ⅰ	2		④	地域の産業界に対するHPを活用した情報発信								○												産学民連携テクノセンターのWEBページでは、本校の産学民連携活動の情報公開を随時更新した（産学民）。	A（産）	A		産学民連携テクノセンターのWEBページでは、本校の産学民連携活動の情報公開を随時更新している（産学民）。

276	外	2		④	地域の産業界に対するニーズ調査方法検討								○												久留米市産業振興協議会「企業の成長支援」推進グループに参画し、久留米市ものづくり支援事業における地域企業の掘り起こしを行った。久留米市による「ものづくり企業事例集」作成に参画し、その発行記念イベントである2月7日開催された「久留米ものづくり発信シンポジウム」に参加した（産学民）。	A（産）	A		久留米市産業振興協議会「企業の成長支援」推進グループに参画し、久留米市ものづくり支援事業における地域企業の掘り起こしを継続する（産学民）。
277	Ⅰ	2		④	各種フォーラムなどへの参加促進								○												8月30～8月31日に開催されたイノベーションジャパン2018大学見本市（東京）に参加し、産学連携に関する情報発信及び収集並びに人的ネットワークの拡充に努めた（産学民）。	A（産）	A		イノベーションジャパン2019大学見本市（東京）に引き続き参加し、産学連携に関する情報発信及び収集並びに人的ネットワークの拡充に努める予定である（産学民）。
278	Ⅰ	2		④	ウェブページの更新	△	△	△	△	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	専攻科に関係する諸行事関して随時情報を更新している。（専攻科主事） 本校トップページのスクロール写真を更新した。その他各部署に係るトップページの内容変更の際に、トップページ管理一覧表を更新している。（企画主事） 入館者などの情報をウェブページに更新している。（図） 学生向きに総合情報センターのウェブページを開設した。（総合） 定期的に更新している。（相談） 就職担当者びその連絡先等適宜最新の情報に更新し、学生の就職活動に供しているでいる。また企業担当者柄が本校に来校しての就職主任との面談に関してのガイダンス的内容を追加し、面談のスムーズな運用に資することができた（キャリア支援室） 適宜更新している。（機械） 行事の紹介を更新さいた。進路情報掲載については検討中。（電気電子） 実施している。（制御） 学科ホームページはH27年度末に改定し、適宜更新している。（生化） イベントがあるたびに随時HPの更新を行っている。（材料シ） 更新した。（文）	A（専） A（企） A（図） B（総） A（相） B（キ） A（機） C（電） A（生） A（材） A（文）	A		継続して更新を実施していく（専攻科主事） 次年度も引き続き実施するとともに、トップページのリニューアル等の検討を進める。（企画主事） 入館者などの情報をウェブページに更新する。（図） 継続（相談） 現在、基礎的な就職進学情報をHPで開示しているが、今後どのような情報を開示すべきか、他高専の状況をい調査、キャリア支援室で議論する必要あり。（キャリア支援室） 今年度と同様に実施予定。（機械） 主要行事のみでなく中程度の行事も更新させる（電気電子） 同様に行う（生化） 来年度も引き続き実施する。（材料シ） 継続（文）
279	Ⅰ	2		⑤	「仕上げ作業実技講習会」や「3D-CAD関連講座」などの社会人向け公開講座の開催	○										○								3D-CAD関連公開講座等、学科でいくつかの公開講座を開講している。（教務主事） 仕上げ作業実技講習会（4月～7月間に6回）、3D-CAD関連公開講座（基礎講座：8月末、CAE講座：9月末（受講者少のため未実施）を開催した。（機械）	A（教） A（機）	A	A	次年度も同様実施する（教務主事）。 今年度と同様に実施予定。（機械）
280	Ⅰ	2		⑤	高等教育コンソーシアム久留米のサテライトキャンパスの活用								○											高等教育コンソーシアム久留米を介して単位互換協定校（久留米大学・久留米工業大学・聖マリア学院大学・久留米信愛女子短期大学）との外部単位取得を推進した（産学民）。	C（産）	A		高等教育コンソーシアム久留米を介して単位互換協定校（久留米大学・久留米工業大学・聖マリア学院大学・久留米信愛女子短期大学）との外部単位取得を推進する（産学民）。
281	Ⅰ	2		⑤	小学校理科教育支援・出前授業等の実施								○			△	△	△	△	△	△	△		有明高専、熊本高専との「高専ハカセ塾」事業により久留米・周辺地区小中学生の育成を行った。 また、7月14日の西国分小化学教室及び8月4日にイオンモール大牟田で開催された「夏休みの出張体験教室」に教育研究支援センターが主体となり参加した（産学民）。 実施している。（制御） 小中学生を対象とした公開講座を実施している。えーるピア久留米生涯学習センター主催「夏休み親子科学教室」に講師を派遣した。（生化） 鳥栖市内小学校において理科教室を実施した。（2校）（材料シ） 実施していない。（文）	A（産） A（生） A（材） C（文）	A		有明高専、熊本高専との「高専ハカセ塾」事業の第2期を今年度も行い、久留米・周辺地区小中学生の育成を行う予定である（産学民）。 引き続き検討（機械） 同様に行う（生化） 来年度も引き続き実施する。（材料シ） 特に計画していない。（文）
282	Ⅰ	2		⑤	佐賀県内小中学校への出前授業の推進								○			△	△	△	△	△	△	△		文部科学省「土曜学習応援団」への学校登録し、小中学校を対象とした「土曜日の教育活動推進プロジェクト」への推進を図った（産学民）。 本年度該当なし。（生化） 鳥栖市内小学校において理科教室を実施した。（2校）（材料シ） 実施していない。（文）	C（産） C（生） A（材） C（文）	A		文部科学省「土曜学習応援団」への学校登録し、引き続き小中学校を対象とした「土曜日の教育活動推進プロジェクト」への推進を図る（産学民）。 引き続き検討（機械） 検討する（生化） 来年度も引き続き実施する。（材料シ） 特に計画していない。（文）
283	Ⅰ	2		⑤	高等教育コンソーシアム久留米の「小中高連携部会」への参画								○											高等教育コンソーシアム久留米の「小中高連携部会」に参画した（産学民）。	A（産）	A		引き続き高等教育コンソーシアム久留米の「小中高連携部会」に参画する（産学民）。
284	Ⅰ	2		⑤	久留米マナビイランドへの参画								○			△	△	△	△	△	△	△		11月11日開催のマナビイランド（久留米生涯学習推進市民協会主催）のふれあい理工学展に3学科で出展した（産学民）。 H30年度は当番のローテーションでなかった。来年度当番で実施予定。（電気電子） 参加している。（制御） 今年度参加した。（生化） 今年度は該当無し（材料シ） 実施していない。（文）	A（産） A（機） A（電） A（生） C（文）	A		マナビイランド（久留米生涯学習推進市民協会主催）のふれあい理工学展に出展する予定である（産学民）。 次年度は担当外。（機械） ローテーションに従い参加（電気電子） 次年度該当なし（生化） 継続（文）
285	Ⅰ	2		⑥	同窓会と連携した卒業生のネットワーク作り促進	○																		支部会への教員派遣（教務主事）	A（教）	A	A	次年度も同様実施する（教務主事）。
	3 国際交流等に関する事項																											
286	Ⅰ	3		①	熊本高専主催のシンガポールのポリテクでの英語研修への学生派遣検討	○																		今年度は未実施（教務主事）	C（教）	C	A	次年度も同様実施する（教務主事）。
287	Ⅰ	3		①	海外の教育機関との国際交流に関する調査実施	○				○														タイの王立キングモンクット工科大学の教員が久留米高専に訪問した際に、タイの大学との国際交流について意見交換を米永准教授と萩原准教授、田中諒助教が行った．その後、田中諒助教がタイの大学へ短期滞在し、共同研究につながった．（企画主事）	A（企）	A		アジア各国との教員との国際交流・情報交換を計画、実施する（企画主事）。
288	Ⅰ	3		①	国際交流推進WG の組織化による本校独自のグローバル人材育成教育の検討・推進（第1回運営委員会）	○																	○	国際交流推進WGが立ち上がった。（教務主事）	A（教）	A		次年度も同様実施する（教務主事）。
289	Ⅰ	3		①	国際交流の推進（海外大学等との交流、教育・技術支援、協定締結）	○			○	○														今年度もタイやシンガポールからの留学生を受け入れた。（教務主事） 柿原科学技術研究助成へ学生補助の申請を実施し、国際交流に関して62万円の補助決定があった。これらの助成を活用し、国際会議での発表やマレーシア工科大学との国際交流を実施していく。11月に専攻科生4名と共にマレーシア工科大学との国際交流事業を実施した。（専攻科主事） JASSOの平成30年短期留学受入支援プログラムが採択され、特別聴講生として、タイの大学から前期に7名の学生を受け入れた。また、後期にタイの大学院生1名を受入れ、シンガポールのポリテクからも、合計9名を受け入れている。JASSOの平成31年度海外留学支援制度（協定受入）にタイとシンガポールの2プログラムを申請する予定である。アメリカのニューヨーク市立大学クイーンズ校での英語研修に菰田准教授が1か月半参加した。（企画主事）	A（教） A（専） A（企）	A		次年度も同様実施する（教務主事）。 次年度以降の継続実施について検討していく（専攻科主事） 引き続きタイやシンガポールとの教員、学生との国際交流を計画、実施する。また、海外英語研修により、本校教職員の英語コミュニケーション能力の底上げも行う（企画主事）。
290	Ⅰ	3		①	短期留学生の受け入れ推進	○		△		△						△	△	△	△	△				今年度もタイやシンガポールからの留学生を受け入れた。（教務主事） 特別聴講生としてタイとシンガポールから前期と後期を合わせて20名受け入れた。さらに、前期はさくらサイエンスプロジェクトにより、タイの大学生7名と教員1名を1週間招待し、国際交流プログラムを実施した。また、今年度中に平成31年度のJSTのさくらサイエンスプロジェクトに申請予定である。（企画主事） 毎年受け入れている。（電気電子） 受け入れている。（制御） 今年度該当なし。（生化） シンガポールからの短期留学生を2名受入。（材料シ）	A（教） A（企） A（電） C（生） A（材）	A		次年度も同様実施する（教務主事）。 引き続きJASSOやJSTの国際交流プログラムに申請し、海外留学生の受入れを推進する。（企画主事） 引き続き検討（機械） 受け入れを継続する（電気電子） 検討する（生化） 来年度も引き続き実施する。（材料シ）
291	Ⅰ	3		①	機構主催海外インターンシップへの応募				○															前期は希望者なし。後期も希望者なし。（専攻科主事）	D（専）	D		学生へのアナウンスを継続して実施していく（専攻科主事）
292	Ⅰ	3		②	外国人学生対象の3年次編入学試験への参加	○																		実施した（教務主事）	A（教）	A	A	検討する（教務主事）。
293	Ⅰ	3		③	九州沖縄地区高専留学生交流研修会への参加	○																		参加した。（教務主事）	A（教）	A	A	次年度も同様実施する（教務主事）。
294	Ⅰ	3		③	外国人留学生に対する学習・生活面の支援（Ⅰ1(5)⑤再掲）	○		○								○	○	○	○	○				留学生にはチューターを付けて対応している。（教務主事） 寮生会による寮祭を開催し、留学生と日本人寮生との親睦を深めた。女子寮では、寮母による女子留学生との交流も図られている。学習面では、額黒人留学生のために、学習用に多目的室の利用を一定期間認めた。（寮務主事） クラス担任を中心に行っている。（機械） 当該クラス担任中心に行い必要に応じ学科で協力する。（電気電子） 該当なし。（制御） 外国人留学生の3年シンディ、4年ダニエル、5年アウリキについて、担任および相談員で支援している。シンディに対しては、生物応用化学基礎の科目で，低学年の復習を生化教員で連携して教授し、合わせて日本語の会話と文書作成を指導している。（生化） 該当なし（材料シ）	A（教） B（寮） A（機） A（電） A（生）	A		次年度も同様実施する（教務主事）。 次年度も継続して実施する．（寮務主事） 今年度と同様に実施予定。（機械） 現状の対応を継続する（電気電子） 同様に行う（生化）
	4 管理運営に関する事項																											

295	I	4	①	学校の管理運営の在り方についての検討、見直し	○				○															企画主事が見直しを実施（教務主事） 第１回企画委員会で現状の運営システムおよびPDCAサイクルを説明し意見を募ったが、2年前に大幅な組織改革を実施こともあって、特段の意見はなかった。校務分担の決定手順の見直しを検討中である。（企画主事）	A（教） A（企）	A	A	次年度も同様実施する（教務主事）。 次年度も引き続き検討する。（企画主事）
296	I	4	①	校内組織改革計画（平成２８年度策定）の点検・見直し	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								○	○	企画主事が見直しを実施（教務主事） 業務内容の見直しの他、事務組織の見直し（専攻科係の新設）があり、その対応について検討していく。9月より専攻科係を新設し、専攻科にかかる事務運用を担当してもらっている。（専攻科主事） 昨年度より実施した大幅な組織改革に対する意見を集約した結果、現状の体制を維持することとなった。（企画主事） 図書係が、学術情報係に変更になった。（図） 学生相談室運営委員会の役割について、様々な角度から点検・見直しを行っている。（相談） 適宜、役割やその運用について点検・見直しを行っている。（キャリア支援室）	A（教） C（専） A（企） A（図） B（総） A（相） A（キ）	A		次年度も同様実施する（教務主事）。 主事補がいないコースの学生への対応が不十分であり、その方策を継続して検討していく（専攻科主事） 本年度で終了。（企画主事） 次年度も引き続き行う。（図） ほぼ終了した（相談） 今後も適宜、役割やその運用について点検・見直しを行っていく。（キャリア支援室）
297	I	4	①	事務組織の点検・見直し(第5回運営委員会)																		○	○	事務組織を点検し、より機能的な体制に改編した。（総務課）（学生課）	A（総）	A		必要に応じ、適時・適切に対応する。（総務課）
298	外	4	①	KPIなどの管理方法導入の検討					○															平成30年度学校運営の課題及び基本方針（校長ビジョン）実行計画の中で、事務関係者が中心となって可能な限りKPIを導入している。（企画主事）	B（企）	B		本年度で終了。（企画主事）
299	I	4	①	老朽化施設改修に関わる概算要求・営繕要求等の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		施設係を中心に必要な場所をまとめ、取り組んでいる。（教務主事） 未検討。専攻科棟空調設備の更新を要求している。（専攻科主事） 企画主事は担当外。（企画主事） 図書棚やロビーの机、いすを要求していく。（図） 学生相談室は改修されたばかりの管理棟にあるため、改修の必要はない。（相談） キャリア支援室には所管施設無し（キャリア支援室） 概算要求・営繕要求等を行っている。（機械） 毎年度更新、新規要求を行っている。（電気電子） 不要な施設の撤去を検討している。（制御） 必要に応じ実施している。（生化） ものづくり第三期予算要求（材料シ） 実施している。（文） 要求を出した。（理） 第１回、第8回、第9回施設・環境委員会で概算要求及び営繕要求事項の確認を行った。（総務課） 筑後川堤防工事に係る再配置の中で財源不足により削除した工事について営繕事業で要求した。（総務課）	A（教） B（専） B（図） B（総） A（相） A（機） A（電） A（制） A（生） A（材） A（文） A（総）	A		次年度も同様実施する（教務主事）。 継続して検討していく（専攻科主事） 企画主事は次年度から担当から外す。（企画主事） 図書棟働棚やロビーの机、いすを要求する。（図） 該当なし（相談） キャリア支援室には所管施設無し（キャリア支援室） 今年度と同様に実施予定。（機械） 設備更新を継続請求する（電気電子） 今年度老朽化した施設の撤去を学校に要望しているが、撤去できな場合次年度も実施する。（制御） 同様に行う（生化） 来年度も引き続き実施する。（材料シ） 継続（文） 要求を出す。（理） 機構施設課とTV会議で調整後５月に平成３２年度概算要求を提出する。（総務課） 引き続き、筑後川堤防工事に係る再配置経費（不足額）について機構に要望する。（総務課）
300	I	4	①	今後の国立高専における教育体制整備の方針への適切な対応	○			○					△	△	△	△	△	△	△	○				カリキュラム改正に取り組んでいる。（教務主事） 該当なし。（専攻科主事） 該当なし。（機械） 推移を見ながら検討・協力協調している。（電気電子） 学校側で検討している。（制御） カリキュラム改正を行った。（生化） 該当なし。（材料シ） 対応している。（文）	A（教） A（生） A（文）	A		次年度も適宜取り組む（教務主事）。 引き続き検討（機械） 推移をみながら分析協調を進める（電気電子） 検討する（生化） 継続（文）
301	I	4	①	KOSEN4.0イニシアティブ事業計画の修正申請・推進・実施(第1回運営委員会)	○			○	○		○		○	△	△	△	○	○	△	△	△	△	△	申請した。（教務主事） 該当なし。（専攻科主事） 3件を申請したが、いずれも採択されなかった。理事長裁量経費による事業計画を申請し、採択された。（企画主事） KOSEN4.0イニシアティブ事業計画の修正申請議論に参画（キャリア支援室） 事業を提案し協力している。（機械） 関連委員会で検討していた。（制御） 不採択。（生化） 不採択。（材料シ） 修正申請に関わった。（文）	A（教） A（企） A（キ） C（生） A（文）	A		次年度も適宜取り組む（教務主事）。 本年度で終了。（企画主事） 検討する（生化） 継続（文）
302	I	4	①	教育研究支援制度（校内）の明示	○				○													○		「教育助成金の拠出に関する申合せ」を全教員に配信した。（総務課） ６月２０日付けで「教育助成金の拠出に関する申合せ」を廃止し、「久留米工業高等専門学校における教育研究助成金に関する要項」を制定し、対象範囲を拡大した。（総務課）	A（総）	A		企画主事を担当から外す。（企画主事） 引き続き、若手教員、技術職員に対し教育研究支援を行う。（総務課）
303	I	4	①	教育研究支援センター運営の見直し	○																			ネットワーク関係の役割を増強した。（教務主事）	A（教）	A		次年度も適宜取り組む（教務主事）。
304	I	4	①	入試問題作成時チェックリストの作成および見直し	○			○																チェックリストは準備している。（教務主事） 昨年度同様に専攻科入試問題作成時のチェックリストを作成し、前期の学力問題作成に適用した。（専攻科主事）	A（教） A（専）	A		次年度も適宜取り組む（教務主事）。 継続して実施していく（専攻科主事）
305	I	4	①	障害を理由とする差別に関する相談体制の点検・見直し	○	○	○					○												必要に応じて対応している。（教務主事） 特別支援教育委員会で随時発足するワーキンググループに寮務主事補がメンバーとして加わっている。（寮務主事） 学生相談の一環として、障害にかかわる相談を受け付けている。内容に応じてどの部署とどのように連携するか、随時検討している。（相談）	A（教） A（寮） A（相）	A		次年度も適宜取り組む（教務主事）。 次年度も継続して実施する.（寮務主事） ほぼ終了した（相談）
306	I	4	①	リサーチアワーや研修日を確保するための時間割検討	○																		△	今のところ時間割を組むことを優先している。（教務主事）	A（教）	A		次年度も適宜取り組む（教務主事）。
307	I	4	①	会議の構成員及び開催回数の調査					○													○	○	平成28年度と平成29年度の委員会・会議等の開催状況を調査し、第4回運営委員会で報告した。（企画主事）	A（企）	A		次年度も継続する。（企画主事）
308	I	4	①	機構主催「管理職研修」への参加	○																			専攻科主事に参加していただいた。（教務主事）	A（教）	A		次年度も適宜取り組む（教務主事）。
309	I	4	①	教員兼業ガイドラインの策定検討	○																	△		昨年度策定した。（教務主事）	A（教）	A		次年度も適宜取り組む（教務主事）。
310	I	4	①	アドミッションポリシーを周知するための教職員へのアンケート実施方法検討	○																		○	募集要項に記載してある。（教務主事）	A（教）	A		次年度も適宜取り組む（教務主事）。
311	JB	4	①	自己点検する仕組み自体の点検への配慮やその実施（JABEE基準４）					○							○	○							第１回企画委員会及び運営委員会で現状の運営システムおよびPDCAサイクルの体制を説明し意見を集約している。（企画主事） 仕組みを作成しているが、今年度実施していない。JABEEの継続の是非について検討しているかは不明。（制御） 学校の自己点検書で報告している。（生化）	A（企） A（制） B（生）	A		次年度も継続する。（企画主事） JABEEの継続は不明のため実施するかどうかは不明。（制御） 同様に行う（生化）
312	JB	4	①	プログラムの教育活動を継続的に改善する仕組みと活動の改善（JABEE基準４）										○										活動を継続している。（電気電子）	A（電）	A		活動を継続する（電気電子）
313	I	4	②	一般管理費削減のための業務運営の見直し																		○		各委員長等は予算削減提案事項を検討し、１０月、３月の予算委員会で報告した。（総務課） 昨年に引き続き、経費削減のためカラー印刷を白黒印刷に変更するよう奨励した。（総務課）	A（総）	A	A	予算委員会等で現実的・効率的な削減項目を精査する。（総務課）
314	I	4	②	非常勤講師及び非常勤職員費用の減額の検討	○									△	△	△	△	△	△		△			教育体制整備に伴い教員の授業時間数を増やす。（教務主事） H31年度より5年生必修科目、英語Ｖの新設により、選択科目「テクニカルコミュニケーション」を廃止した。（機械） 科目統合など含め有効に活用されるよう、また学科教員が担当可能な科目について検討実施する。（電気電子） 関連委員会で検討している。（制御） JNC株式会社から「安全工学」の講師を謝礼、交通費無しで派遣してもらっている。人事交流（介護支援）で他高専へ派遣されている教員代替の非常勤相当科目２科目の授業を本年度は生化教員で実施した。（生化） 新規採用教員にともない、1名減。（材料シ） 検討している。（文）	A（教） A（機） A（電） A（生） A（材） A（文）	A		次年度も適宜取り組む（教務主事）。 引き続き検討（機械） 効率化に努めている（電気電子） 未定（生化） 継続（文）
315	I	4	②	寄附講座・協力講座に関わる規程の整備	○																	○		予定なし（教務主事）	C（教）	C		必要に応じて検討する（教務主事）。

316	I	4		②	事務処理方法の見直し、検討																		○		事務改革推進会議が11月21日付け設置し、当該会議の下で積極的に進めて行く。(総務課)	A(総)	A		次年度も当該会議の下、鋭意検討を進める。(総務課)
317	I	4		②	定期試験答案等10年間保管方法検討	○																	○	○	pdf等の電子データにし、CDに保存し教務係に提出するように依頼した。(教務主事)	A(教)	A		次年度も同様実施する(教務主事)。
318	外	4		③	機構本部作成コンプライアンス・マニュアル等を活用した教職員コンプライアンス向上(H29外部評価委員会)																		○		教員と職員とに分けてコンプライアンス教育(公的研究費使用マニュアルの説明等)を実施(教員:5月2日開催の第1回教員会議、職員:12月4開催の会計監査人研修)するとともに、コンプライアンスに関するセルフチェック、アンケートで研究者倫理教育を実施した。(総務課)	A(総)	A	A	引き続き、教職員に対するコンプライアンス教育を実施する。(総務課)
319	I	4		③	危機管理規程に基づく、危機発生の事前防止	○																			リスク管理委員会で検討している。(教務主事)	A(教)	A		次年度も同様実施する(教務主事)。
320	認	4		③	△危機管理ガイドライン及びマニュアルの周知・点検・見直し(第1回運営委員会)	○																	○		適宜実施予定(教務主事)	A(教)	A		次年度も同様実施する(教務主事)。
321	I	4		③	緊急連絡体制の見直し																		○		「危機管理マニュアル」に対応させ、より迅速な対応が可能となる緊急連絡体制網を作成した。(総務課)	A(総)	A		
322	I	4		③	メールによる安否確認体制の運用	○	○																○	○	平成29年に導入した。(教務主事) 平成29年に導入し、総合防災訓練時に配信テストを実施した。(学生主事)	A(教) C(学)	C		次年度も同様実施する(教務主事)。 災害発生時など緊急時に利用したい。(学生主事)
323	I	4		③	水害等防災体制の点検及び防災訓練の実施																		○		危機管理マニュアルに応じ、水害等防災体制の点検及び防災訓練を実施した。(総務課)	A(総)	A		次年度は筑後川氷害を想定した訓練を予定している。(総務課)
324	I	4		③	各種設備・機器の取扱説明書に基づく使用状況の確認	○									○	○	○	○	○	○	○		○		技術職員には依頼している。(教務主事) 取扱説明書に基づき使用している。(機械) 機器に応じ対応している。(電気電子) 該当なし。(制御) 取扱説明書に基づいて使用している。(生化) 主要設備・機器には使用状況確認簿を付け、管理している。(材料シ) 確認している。(文)	A(教) A(機) A(電) A(生) A(材) A(文) B(理)	A		次年度も同様実施する(教務主事)。 今年度と同様に実施予定。(機械) 機器に応じた対応を継続(電気電子) 同様に行う(生化) 継続(文)
325	I	4		③	学生事件・事故の管理体制の整備およびテーブル訓練実施	○	○	○																○	前年度実施した。(教務主事) 9月に機構主催の学生支援担当教職員研修に参加した。(学生主事)	C(教) A(学)	C		必要に応じて実施する(教務主事)。 研修等あれば積極的に参加したい。(学生主事)
326	I	4		④	内部監査項目に沿った適切な体制の見直し																		○		これまでの指摘事項等を踏まえ、事務処理体制を必要に応じ見直している。(総務課)	A(総)	A	A	内部監査等における主な指摘事項・不適切事例・講評事項等と照らし合わせ本校の体制を確認する。(総務課)
327	I	4		④	校内監査の適切な運用																		○		機構会計規則及び久留米工業高等専門学校会計監査実施規則に基づき、平成31年1月(インタビュー)、2月(書類監査)に内部監査を実施した。(総務課)	A(総)	A		機構会計規則及び久留米工業高等専門学校会計監査実施規則に基づき、適切な時期に校内監査を行う。(総務課)
328	I	4		⑤	研究費不正防止に関する意識啓発(セルフチェックリスト、科研費説明会、会議等)																		○		平成30年度新任者オリエンテーション及び5月2日開催の平成30年度第1回教員会議及び平成30年12月4日開催の会計監査人監査研修で公的研究費使用マニュアルを説明した。(総務課)	A(総)	A	A	機構開催の各種研修会等(TV会議)を公開し、研究費不正防止に関する意識啓発を図る。(総務課)
329	I	4		⑤	公的研究費のガイドラインに沿った運用																		○		文部科学省公的研究費に関するガイドラインの運用を受け、機構が整備した公的研究費等の運営・管理体制及び規則等に基づき、久留米高専でマニュアルを毎年更新し、教職員に周知している。(総務課)	A(総)	A		公的研究費使用マニュアル(久留米高専)を更新し、規則変更等に対応できる環境を整備する。(総務課)
330	I	4		⑥	事務職員や技術職員の研修会参加	△																	○		・知的財産権制度説明会(同運営事務局主催)に事務職員5名が参加した。 ・九州沖縄地区国立高等専門学校事務職員研修(第5ブロック会議主催)に事務職員3名が参加した。 ・九州地区国立大学法人等係長研修(大分大学主催)に事務職員1名が参加した。 ・高専機構若手職員研修会(高専機構主催)に事務職員1名が参加した。 ・グローバルSD(マレーシア、ベナン研修)(豊橋技科大他主催)に技術職員1名が参加した。 ・西日本地域高等専門学校技術職員特別研修会(高専機構主催)に技術職員1名が参加した。 ・九州地区国立大学等技術専門職員・中堅技術職員研修(宮崎大学主催)に技術職員1名が参加した。(総務課)	A(総)	A	A	次年度も引き続き実施する。(総務課)
331	I	4		⑥	事務職員や技術職員の表彰推薦実施	△																	○		・11月に本校の表彰委員会から全教職員に対し、功労賞の推薦依頼を行うこととしていたが、該当者がなかった。 ・機構本部で実施する顕彰制度への推薦に向けて調整を行ったが、該当者がなかった。(総務課)	A(総)	A		次年度も引き続き実施する。(総務課)
332	I	4		⑥	SD 会議の実施も含む体系的な教職員研修の実施(第1回運営委員会)	△			○														○		実施要項を作成し、9月19日に主に係長を対象に、1月25日に全教職員を対象としたオフィス365に係るSD研修を実施した。(総務課)	A(総)	A		企画主事を担当から外す。(企画主事) 次年度も引き続き実施する。(総務課)
333	I	4		⑥	事務改革推進会議の設置および開催(第7回運営委員会)																		○	△	11月21日付けで設置し、1月31日に第一回の会議を開催した。(総務課)	A(総)	A		次年度は月1回の定例開催として実施する。(総務課)
334	I	4		⑦	国立大学法人や国立高等専門学校間での事務職員の人事交流推進																		○		機構本部及び有明高専との人事交流(10／1付)を行った。(総務課)	A(総)	A	A	次年度以降も推進する。(総務課)
335	I	4		⑦	福岡3高専における職員人事交流制度の創設検討(第6回運営委員会)																		○		平成30年9月28日付けで「人事交流制度に関する協定書」を締結した。	A(総)	A		適時適切に調整会議を開催し制度の円滑な運用を図る。(総務課)
336	I	4		⑧	IT資産管理システムによるソフトウェア管理の実施						○														新しいソフトウェア管理ソフトウェアで実施中である。(総合)	B(総)	A	A	
337	I	4		⑧	施設及びスタッフの充実による総合情報センター機能強化(第1回運営委員会)	○					○												○		技術職員を1名増員した。(教務主事) 総合情報センター・ワークショップを図書館2階に設置し、4人の技術職員がシステムの準備等で有効に活用している。若手技術職員を総合情報センター員に1名加え、技術職員を3名から4名体制に強化した。(総合) 図書館2階に総合情報センター・ワークショップを設置した。(総務課)	A(教) B(総)	A		必要に応じて実施する(教務主事)。
338	I	4		⑧	情報セキュリティ対策の機構取組に即した整備	△					○														機構の取り組みに沿ったセキュリティーに関する啓蒙活動を行った。たとえば、全教職員に対して、「情報セキュリティーに関する誓約書」を取った。同じく全教職員に対して、ウィルスに感染と思ったら「すぐやる3か条」の通知・掲示依頼をした。また、全学生に対して、Office365の活用を目指したeLearningの受講とシステムの使用に関する誓約書の提出を依頼中である。(総合)	B(総)	B		
339	I	4		⑧	情報セキュリティの徹底						○												○		情報セキュリティーに関する機構本部からの注意喚起について、速やかに学内に周知を行った。(総合)	B(総)	A		
340	I	4		⑨	自己点検評価及び外部評価の社会に対する公表				○																平成29年度までの自己点検評価書及び外部評価委委員会報告書等並びに平成30年度の年度計画等をホームページで公表している。なお、本年度の自己点検評価書及び外部評価委委員会報告書については、関係する教職員や外部評価委員会委員と現在調整中であり、本年度中に完成させホームページで公表する。平成31年度の年度計画については、機構本部の方針が示された後、速やかに、本校の自己点検評価書に基づいた次年度計画との整合性を図った上で同様の対応を行う。(企画主事)	A(企)	A	A	次年度も継続する。(企画主事)
341	認	4		⑩	○学校独自の自己点検(総合的な活動)評価書作成・公表				○																平成25年度から毎年度作成し、学内委員会での合意を得てホームページ上で公表している。本年度についても同様に対応する。(企画主事)	A(企)	A	A	次年度も継続する。(企画主事)
342	外	4		⑩	外部評価委員会の開催および審議内容の検討				○																昨年度指摘事項の対応状況、教育の現状と改善及び就職・進学状況とキャリア支援についての3つのテーマについて、12月13日に開催した外部評価委員会で報告した。(企画主事)	A(企)	A		次年度も継続する。(企画主事)
343	JB	4			学科JABEE会議の定期的開催(JABEE基準4)										○										基本的には月1回、学科運営会議と同時開催している。(機械)	A(機)	A	A	今年度と同様に実施予定。(機械)
344	JB	4			基準1～3に則した改善明確な点検活動の実施(JABEE基準4)											○									点検している。(電気電子)	A(電)	A		
345	JB	4			非常勤教員へのJABEEの周知(JABEE基準4)										○										周知を行っている。(機械)	A(機)	A		今年度と同様に実施予定。(機械)
346	I	4			ロボコン地区大会の円滑運営(第1回運営委員会)		○																	○	円滑な運営が実施できた。(学生主事)	A(機)	A	A	次年度、本校は地区大会担当校ではない。(学生主事)
347	I	4			創基75周年・高専創設50周年記念基金事業の実施		○																○		作業部会で検討し、学生の課外活動等に有用な公用車を購入した。(学生主事) 作業部会から提案があった公用車を購入した。(総務課)	A(学) A(総)	A	A	次年度も引き続き事業を検討していく。(学生主事) 次年度も記念基金事業の検討を行う。(総務課)
348	I	4			教育研究支援基金の効果的運用(第1回運営委員会)	○																	○		効果的な配分になるように校長を中心に検討している。(教務主事)	A(教)	A	A	次年度も同様実施する(教務主事)。
349	I	4			後援会・寮生保護者会・同窓会との連携強化 (後援会理事会・総会に対する本校の現状報告の適宜実施、同窓会久留米工業会理事会・支部総会への校長等の出席等)	○	○	○															○	○	10月6日　後援会理事会において現況報告の実施を計画中。(教務主事) 後援会理事会への出席や後援会会長との打ち合わせを行い、連携を密にしている。(学生主事) 寮生保護者会総会を開催し、決算予算の審議および現状報告をした。(寮務主事)	A(教) A(学) A(寮)	A	A	次年度も同様実施する(教務主事)。 今年度同様に実施する予定。(学生主事) 次年度も継続して実施する.(寮務主事)

350	Ⅰ	4		OB/OG を対象としたリカレント教育及びジョブマッチングの検討(第1回運営委員会)	○			○						○									○	学科で対応している。(教務主事) 未検討。(専攻科主事) 各学科に於いて個別にOB／OGからの再就職等の相談を受け対応しているが学校としてのまとまった対応は未達である。本校に求人で来校する企業に事前記入をお願いする「面談基礎情報シート」に「既卒受け入れ」「中退者受けいる」「留学生受け入れ」の可否を問う欄を設け、企業の意向を収集する仕組みを作った。(キャリア支援室)	A(教) A(専) B(キ)	A	A	次年度も同様実施する(教務主事)。 必要性について検討していく(専攻科主事) 個々のOB／OGの相談には各就職主任が真摯に対応している。組織としてどこまでOB/OG を対象としたリカレント教育及びジョブマッチングの検討するか、学校教育として議論する必要あり。(前回のイニシアチブ4．0ヒアリングでは、文科省からそれは厚労省所管の業務とのコメントあり)(キャリア支援室)
351	外	4		責任と業務量に相当する教員の処遇方法検討(H29外部評価委員会)	○																		○	賞与等に関して査定基準を策定し実施している。(教務主事)	A(教)	A	A	次年度も同様実施する(教務主事)。
352	Ⅰ	4		教職員の健康管理の取組推進																			○	・毎週水曜日を定時退勤日と毎回メール通知により周知に努めている。また、毎月1回産業医面談の機会を設け、希望者や面談が必要な対象者に対し、面談を実施している。なお、ストレスチェックの導入も行っており、その結果、ストレス度が高いと判断された教職員に対する産業医による面接指導を実施した。その他、教職員の定期健康診断や特殊健康診断以外にも女性検診を実施し、教職員への福利厚生の取組みを推進している。 今年度の実績は、産業医面談11件、職員健康診断9月21日実施、女性検診受験者17名(希望者のみ受診)である。(総務課)	A(総)	A	A	次年度も引き続き取り組みを推進する。(総務課)
353	Ⅰ	4		新任教員アドバイザー制度の運用	○										○	○			○	○			○	新任教員にはアドバイザーを付けて運用している。(教務主事) 該当なし。(機械) 該当なし。(電気電子) 新任教員にはアドバイザーを付けて運用している。(材料シ) 今年度運用している。(文)	A(教) A(電) A(材) A(文)	A	A	次年度も同様実施する(教務主事)。 新規採用者がある場合に継続対応(電気電子) 来年度も新任を迎えるので継続する。(文)
354	Ⅰ	4		校長による教員面談の実施																			○	該当なし。(電気電子) 新規採用教員1名との面談を実施した。(総務課)	A(総)	A	A	次年度も引き続き実施する。(総務課)
355	認	4		△教職員に対する各種委員会等の議事要旨開示																			○	委員会等終了後、各担当者が議事要旨をサイボウズに掲載している。(総務課)	A(総)	A	A	次年度も引き続き実施する。(総務課)
356	Ⅰ	4		専攻科特別研究担当者への教育・研究費支援の実施	○			○																校長裁量経費からの補助継続(専攻科2年生の指導1人につき5万円)。(専攻科主事)	A(専)	A	A	継続実施に必要な予算要求を行っていく(専攻科主事)
357	Ⅰ	4		外部資金獲得案件の調査及び関係者への周知																			○	奨学寄附金、共同研究及び受託研究等について、年度合計を運営委員会に報告する。(総務課)	A(総)	A	A	機構配分予算の減額を補う目的で、外部資金獲得状況を運営委員会で報告する。(総務課)
【Ⅱ 業務運営の効率化に関する事項】																												
358	Ⅱ			運営費交付金及び一般管理費の高専機構数値目標に沿った効率化実施																			○	各部署からの要望事項の把握し、機構数値目標に沿った予算配分を行った。(総務課)	A(総)	A	A	機構予算配分方針を遵守する。(総務課)
359	Ⅱ			配分予算内での経費の戦略的かつ計画的な配分																			○	各主事、学科長及びセンター長等を対象に予算化希望調査(ヒアリング)を行い、優先度の高い案件について重点的に配分を行った。(総務課)	A(総)	A		近年の予算削減を鑑み支出のスクラップアンドビルドを検討する。(総務課)
360	Ⅱ			入札及び契約の適正な実施																			○	機構規則や関係法令に基づき適正に実施した。(総務課)	A(総)	A		機構規則及び関係法令に基づき適正な入札及び契約を実施する。(総務課)
361	Ⅱ			予算申請・査定方式による合理的な予算編成(第1回運営委員会)	○				○														○	各部署から予算化に対する要望書を提出していただき、ヒヤリングを行い、それに基づき予算案を作成した。その後、予算委員会の審議を経て、決定した。(教務主事) 各部署に対して予算化要望書に基づくヒヤリングを行い、それに基づく予算案を作成した。その後、予算委員会の審議を経て、決定した。(企画主事) 予備費、追加配分において校長ガバナンスの強化を図るとともに、全教職員を対象に予算獲得への意識改革を図る。(総務課)	A(教) A(企) A(総)	A		次年度も同様実施する(教務主事)。 次年度も継続する。(企画主事) 予算申請方式については、予算化希望調査(導入3年経過)による予算申請が定着してきたので、引き続き教職員への周知を図る。(総務課)
362	Ⅱ			会計検査等の適正実施																			○	機構本部が作成している「公的研究費に関する内部監査マニュアル」及び久留米工業高等専門学校会計監査実施規則に基づき、監査を行う。(総務課)	A(総)	A		機構会計規則及び久留米工業高等専門学校会計監査実施規則に基づき、適正な会計検査等を実施する。(総務課)
【Ⅲ 予算】																												
363	Ⅲ			共同研究、受託研究、奨学寄附金、科研費などの外部資金獲得の推進								○			○	○	○	○	○	○	○			研究推進作業部会にて検討を行う(産学民)。 外部資金獲得のために企業と共同研究に向けての情報交換を行っている。また、すべての教員が科研費の申請を行う予定である。(機械) 推進している。(電気電子) 実施している。(制御) 外部資金が獲得されている。(生化) 外部資金の獲得を推奨している。(材料シ) 推進している。(文) 努めているがまだ件数が少ない。(理)	C(産) A(機) A(電) A(制) A(生) A(材) B(文) B(理)	A	A	引き続き、研究推進作業部会にて検討を行う(産学民)。 今年度と同様に実施予定。(機械) 推進を継続(電気電子) 実施する。(制御) 同様に行う(生化) 来年度も引き続き実施する。(材料シ) 継続(文) 今後も引き続き外部資金獲得に努める。共同研究も積極的に行う。(理)
364	Ⅲ			合理的な予算編成					○														○	総務課と連携して予算編成を行った。(企画主事) 予備費、追加配分において校長ガバナンスの強化を図るとともに、全教職員を対象に予算獲得への意識改革を図る。(総務課)	A(企) A(総)	A		次年度は予算委員会副委員長を担当いする。(企画主事) 予算編成における配慮事項(1．学生及び教職員の安全・安心に関する事項、2．教育・研究・学校運営上必須である事項、3．「平成30年度学校運営の課題及び基本方針」における緊要事項、4．長期ビジョンに基づく事項)に基づき配分額を協議する。(総務課)
365	Ⅲ			予算の効率的執行	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○	△	昨年度同様、専攻科創造工学実験での学生が利用できる予算額を2万円/学生から1.6万円/学生へと20%削減した。 インターンシップ報告会で聴講に来ていただく企業・研究機関への交通費支給を全額取りやめとした。 先端工学特論での特別講義の講師について交通費補助を取りやめ謝金のみの対応とした。(専攻科主事) 本年度は関連する予算がなかったが、次年度に向け国際交流に関する必要な予算について検討している。(企画主事) 効率的に執行している。(図) 効率的執行に努めている。(相談) 効率的な予算の効率的執行に努める。(機械) 効率的な執行に努めている。(電気電子) 実施している。(制御) 予算の効率的執行に努めている。(生化) 予算減に対応し、工場実習を行った。(材料シ) 効率的に執行している。(文)	B(専) A(企) A(図) A(相) A(キ) A(機) A(電) A(生) A(材) A(文) A(総)	A		予算執行状況を見ながら継続して効率的な予算執行について検討していく(専攻科主事) 次年度は企画主事室からの予算要求を行う。(企画主事) 次年度も効率的に予算を執行していく。(図) 継続(相談) 今年度と同様に実施予定。(機械) 効率的執行に継続して務める(電気電子) 同様に行う(生化) 来年度も引き続き実施する。(材料シ) 継続(文) 平成31年度は筑後川堤防工事及び文科・理科棟改修工事に伴う予算執行を適切に実行する。(総務課)
366	Ⅲ			随意契約の見直し検討																			○	機構契約事務取扱規則に基づき、適正に実施している。(総務課)	A(総)	A	A	機構契約事務取扱規則に基づき、適正に実施する。(総務課)
【追加事項】					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						